

岐阜県博物館報

第38号

2015
岐阜県博物館

は じ め に

岐阜県博物館は、県立の総合博物館として昭和 51 年 5 月に開館して以来、「岐阜県にゆかりのあるもの」を中心にした調査研究・資料収集・保管・展示を行うことで、県民に広く学びの場を提供してまいりました。おかげをもちまして今年度で開館 40 年目を迎えます。この間、岐阜県の学術文化及び博物館教育の拠点として、大変多くの皆様にご利用いただきましたことを心から感謝申し上げます。

さて、平成 26 年度は、特別展 2 回を含め企画展を 5 回、マイミュージアムギャラリー展示を 7 回開催いたしました。夏季に開催した特別展「奇なるものへの挑戦 明治大正／異端の科学」（7 月 4 日～8 月 31 日）は、超常現象に挑んだ郷土の先人の足跡から知られざる近代史をひも解くことをねらいとしました。全国的に反響が大きく、幅広い年代の方々に観覧いただきました。

特別展「里山いま昔一人と自然 あらたな“絆”を求めて」（9 月 12 日～11 月 16 日）では、百年公園での体験活動も実施し、人と里山との新たな関わり方を提案することができました。そのほか企画展「ひだみの 古生代の記憶－生命の進化と大量絶滅－」（4 月 26 日～6 月 29 日）では、県内産の化石資料を中心に太古の生物が歩んだ記憶を紹介し、「発掘速報展 発掘された飛騨・美濃の歴史」（11 月 22 日～平成 27 年 2 月 1 日）では、郷土で暮らした先人達の姿として、岐阜市岩田西遺跡など 4 遺跡の調査成果を紹介しました。

また、新たな試みとして、ハイビジョンホールを活用し、大人のための博物館講座や特別企画の講演会を年間 5 回開催し、当館の学芸員の調査・研究や宇宙科学の最先端を伝える機会となりました。それ以外にも、ミュージアムシアターを週末に実施して人文・自然分野の映像資料を上映しました。これらの試みは、大きな成果となり平成 27 年度の本格実施につながりました。

平成 27 年度は、春季特別展「天下人の時代～信長・秀吉・家康と美濃～」において、郷土岐阜とかかわりの深い国宝や重要文化財の資料群から、岐阜の地が天下統一に果たした役割を探ります。秋季特別展「自然のくすり箱～薬草とわたしたちの暮らし～」では、調査データをもとに県内各地の薬草の分布とその活用事例を紹介し、岐阜の自然のすばらしさを再発見していただく機会を提供します。

このほか、移動展として飛騨高山まちの博物館において「歌川国芳 木曾街道六十九次」、岐阜県図書館において「みのひだ 古生代の記憶」を計画しています。三重県総合博物館や長良川鉄道との連携企画の催し物、講演会も開催します。これらをはじめとして、広く県民の皆様に親しみ、学んでいただける催事を多数計画しております。

また、調査研究活動、資料収集保管活動、サポーター協働事業、外部機関との連携といった活動も、より一層の充実に努めてまいります。

ここに、平成 26 年度の活動の記録を紹介する「岐阜県博物館報 第 38 号」を刊行いたしました。県民の皆様をはじめ多くの方々にご高覧いただき、当館の更なる発展のためにご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成 27 年 4 月 1 日

岐阜県博物館長 杉 原 茂 男

目 次

はじめに

I 博物館概要

1 設置目的	1
2 基本的性格	
3 基本方針	
4 沿革	2
5 歴代館長名簿	3
6 施設・設備	4

II 平成26年度のあゆみ

1 職員	6
2 岐阜県博物館協議会	7
3 日誌抄	7
4 実施事業の概要	8
5 展示活動	8
6 調査研究活動	16
7 資料収集活動	22
8 教育普及活動	23
9 利用状況	33
10 博物館関係団体	34

III 利用案内（平成27年度）.....	35
-----------------------	----

I 博物館概要

1 設置目的

岐阜県の人文、自然両分野にわたる諸資料を収集、保管、調査研究、公開し、併せて教育普及活動を行うことにより、広く県民の学習の場となり、また文化財保護の精神の涵養に役立て、新しい教養と文化の発展に寄与することを目的とする。

2 基本的性格

- ・岐阜県の人文（考古、歴史、民俗、美術工芸）、自然（動物、植物、地学）等に関する諸資料の収集保管、展示、調査研究及びそれらの活用を図る総合博物館とする。
- ・県内外の博物館及び相当施設との活発な交流を図るとともに、本県の中央博物館としての役割を果たす内容と設備を有する施設とする。
- ・学校・社会教育機関等との密接な連携を図り、利用者が楽しく学習することができ、未来への研究心と創造性を開発できるような生涯学習機関とする。
- ・館蔵資料や地域情報のデジタル化を進め、ホームページの広報機能と学習機能を充実させる。
- ・資料の収集及び保存並びに展示に関する専門的な調査研究を推進する。

3 基本方針

(1) 資料収集活動

県内の人文・自然等に関する資料を収集する。

資料は、実物を中心とするが、必要に応じて厳密な考証に基づく復元模型を含める。

寄贈、寄託、借用、購入等により収集する。

(2) 展示構成

展示は、常設展示と企画展示とする。

常設展示は、人文・自然の2部門に分け、それぞれ総合展示と課題展示を行う。

総合展示は、概説的な内容とし、誰もが親しめる平易な展示とする。

課題展示は、コーナー毎にテーマを設定して、概説にとどまらない、より深く理解するための展示とする。

企画展示は、一定期間に、特定のテーマを設定して年に数本を行う特別展・企画展などがある。

○展示は以下の点に留意する。

- ・生涯学習の場として、幅広い年齢層に親しめる展示

- ・資料の単なる羅列ではなくストーリー性のある展示
- ・各時代の特色やテーマの本質をとらえた展示
- ・できる限り実物資料の展示とするが、図表や模型等の資料も活用した展示
- ・できる限り資料に直接触れることのできる展示
- ・視聴覚機器などを取り入れ、見る人に強く訴える展示
- ・解説が明確で分かりやすい展示

○各展示室の主題と内容は、次のとおりである。

- ・人文展示室1（人文総合展示）
主題「郷土のあゆみ」…先史時代から近代、現代に至るまでの歴史の流れと、各時代の特色を展示
- ・人文展示室2（人文課題展示・企画展示）
主題「郷土の民俗と美術工芸」…特色ある郷土の民俗と美術工芸を部門別、時代別に展示。また、企画展示（主として特別展）を行う。
- ・自然展示室1（自然総合展示）
主題「郷土の自然とおいたち」…郷土の自然の概要を系統的に展示
- ・自然展示室2（自然課題展示）
主題「郷土のさまざまな自然」…特色ある自然物や事象をテーマ別に系統的に展示
- ・特別展示室（企画展示）
企画展示を行う。

(3) 調査研究活動

- ・博物館資料に関する学術的、技術的な調査研究を行う。
- ・博物館資料の保管及び展示等に関する技術的な研究を行う。

(4) 教育普及活動

- ・展示や博物館資料に関連した教育普及活動を行う。
- ・学校教育や社会教育の関係機関・団体との連携・協力に努める。
- ・サポーターとの協働や県民の自主活動の支援事業等を推進する。
- ・マイミュージアムギャラリーを運営し、個人などによって収集・所蔵されているコレクションを公開展示することにより、生涯学習の成果発表の場とするなど、県民文化の向上と交流を図る。

4 沿革

		10 月	学習ビデオスタディーコーナーを設置				り方について」答申
昭和 46 年	3 月		特別展「濃飛の蘭学」		4 月		特別展「飛騨のあけぼの～交流する縄文・古代人～」
		昭和 60 年	4 月 特別展「濃飛の縄文時代」				
	4 月	7 月	特別展「鉱物の世界」		7 月		特別展「恐竜王国・恐竜～謎とロマン～」
		10 月	特別展「美濃の刀剣」		10 月		特別展「近世に輝く濃飛の群像」
	6～9 月	12 月	自然展示室 2 を改装				
昭和 47 年	4 月	昭和 61 年	4 月 特別展「徳山の四季とくらし」		11 月		小中学生常設展入館料無料化
		7 月	特別展「奥飛騨の自然」	平成 5 年	3 月		入館者 150 万人を突破
昭和 48 年	8 月	9 月	人文展示室 1 を改装	4 月			特別展「土と炎の芸術」
昭和 49 年	3 月	10 月	開館 10 周年記念式典を挙	9 月			29 日大型ほ乳類足跡化石を美濃加茂市で発掘
	10 月		行	10 月			特別展「失われゆく植物」
昭和 50 年	3 月		開館 10 周年記念展「ふるさとの祭り」	11 月			「ハイパーハイビジョン風土記」イメージシュミレーションソフトの完成
	7 月	昭和 62 年	4 月 特別展「飛騨の弥生時代」				
昭和 51 年	1 月		入館者 110 万人を突破	平成 6 年	1 月		20 日マイ・ミュージアム棟起工式
	4 月	7 月	特別展「外国から侵入した生きものたち」	3 月			大型ほ乳類足跡化石を展示
		10 月	特別展「飛騨の匠」	4 月			特別展「川に生きる～水運と漁労～」
			旧徳山村民家移築復元	8 月			恐竜の歯等荘川村で発見
		昭和 63 年	1 月 自然展示室 1 を改装	9 月			特別展「美濃山地の自然」
		4 月	特別展示室ショーケース改修	10 月			入館者 160 万人を突破
	7 月		特別展「ふるさとの湿原」	12 月			ユタ州訪問（花フェスタ'95 展示化石の借用、交流の推進）
	10 月	7 月	中部未来博 '88 記念展「中山道～美濃十六宿～」				
昭和 52 年	5 月	10 月	特別展「中生代の化石」	平成 7 年	3 月		マイ・ミュージアム棟工事の完成
			入館者 120 万人を突破				ハイパーハイビジョン風土記「ひだ・みの紀行美濃路編ソフト完成
		平成元年	4 月 特別展「濃飛の古墳時代」	4 月			特別展「岐阜の淡水魚」花フェスタ'95 にユタ州恐竜化石を展示
	7 月	7 月	特別展「ふるさとの野鳥」	7 月			マイ・ミュージアム（マルチメディア情報センター）落成式典挙
	11 月	8 月	16 日恐竜足跡化石白川村で発見				一般公開
昭和 53 年	4 月	10 月	特別展「移ろいゆく年中行事」	8 月			恐竜ゼミナール GIFU'95 博物館サポーター組織発足
	7 月	11 月	日本生命財団から図書「岐阜博物館総合案内」4,000 冊の寄贈を受ける	10 月			特別展「美濃・飛騨の古代史発掘～律令国家の時代～」
			特別展「輪中と治水」				入定三百年記念「円空展」（名古屋市と共催）
		平成 2 年	4 月 特別展「白山の自然」				県下第 1 号として「マルチメディア工房ぎふ」開設
		7 月	特別展「白山の自然」				
			恐竜足跡化石レプリカ除幕式	11 月			円空シンポジウム「世界における円空」
			グリーンアドベンチャー標識設置（自然観察のこみち）	平成 8 年	4 月		高校生常設展入館料無料化
			岐阜県博物館協議会に「新しい時代・県民ニーズに対応できる博物館の在り方について」諮問	5 月			入館者 170 万人を突破
			入館者 130 万人を突破	7 月			開館 20 周年記念展「恐竜のふるさとユタ」
		10 月	特別展「濃飛の仏像」	8 月			アメリカ合衆国ユタ州プリガムヤング大学付属地球科学博物館と友好提携調印式挙
		12 月	岐阜県博物館協議会から中間答申				
		平成 3 年	3 月 岐阜県博物館案内標識を設置	10 月			飛騨美濃合併 120 周年記念展「岐阜県のみ治維新」
昭和 57 年	4 月	4 月	特別展「ふるさとの木の文化」	11 月			飛騨美濃合併 120 周年記念「文化講演会」
	7 月	7 月	特別展「ふるさとの哺乳動物」				講師 作家 阿川弘之氏 作家 山田智彦氏
昭和 58 年	4 月	10 月	置県 120 年・岐阜鹿児島姉妹県盟約 20 周年記念展「鹿児島 ～その自然と歴史～」				
	5 月	11 月	入館者 140 万人を突破				
	7 月	平成 4 年	3 月 岐阜県博物館協議会から「新しい時代・県民ニーズに対応する博物館の在				
	10 月						
昭和 59 年	4 月						
	7 月						
	8 月						

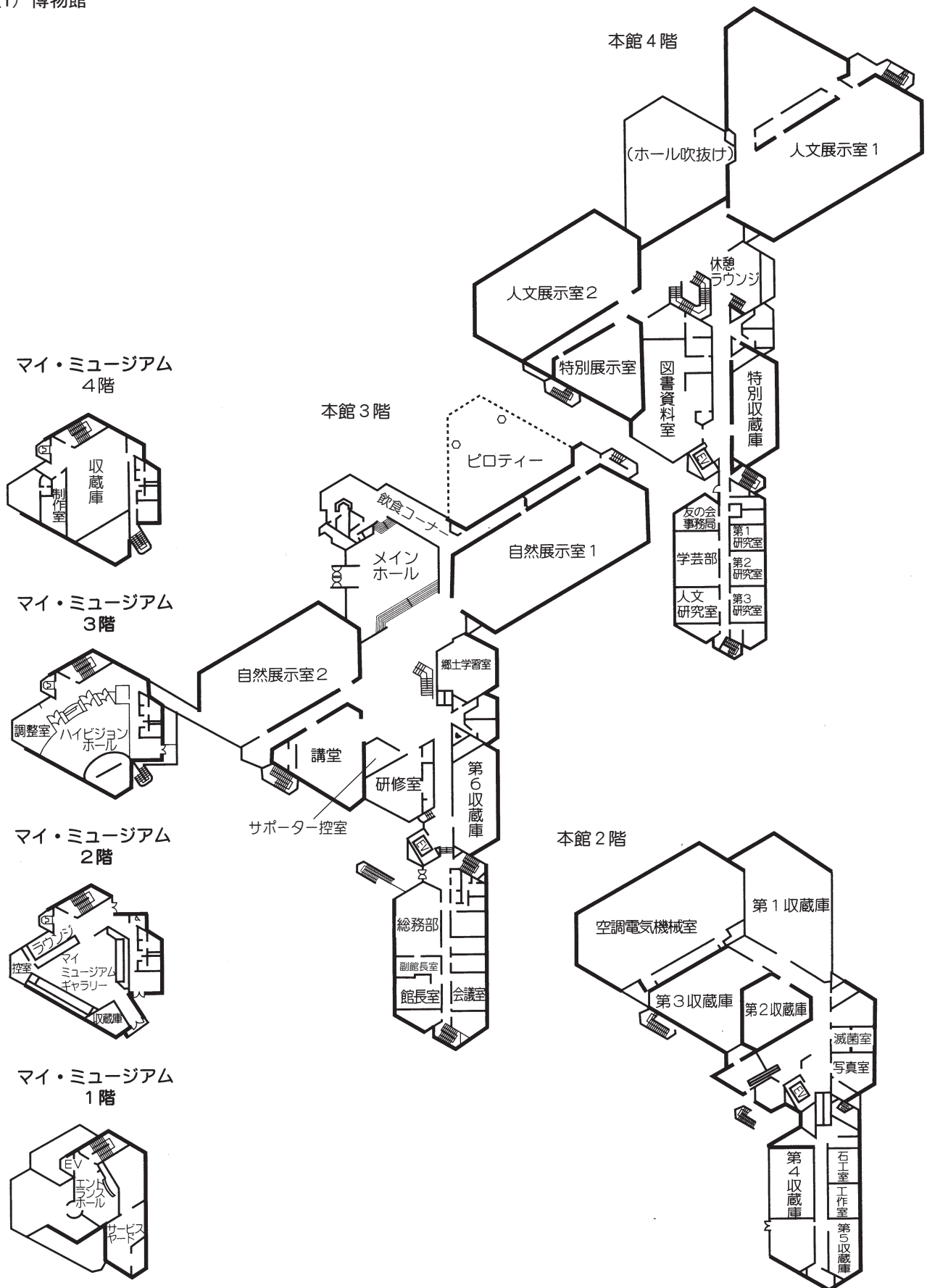
平成 9 年 3 月	ハイパーハイビジョン風土記「ひだ・みの紀行」中山道編ソフト完成	9 月	たげな～」特別展「七代目団十郎と国貞、国芳～芝居、錦絵、中山道～」	9 月	飛騨美濃合併 130 周年記念行事博物館 1 日無料開放
4 月	特別展「花と鳥のイリュージョン～江戸の学問と芸術～」	11 月	ハイビジョン静止画番組「石ころの動物園」(マイユージアムギャラリー)	平成 19 年 7 月	飛騨美濃合併 130 周年記念特別展「錦絵が語る美濃と飛騨」
9 月	特別展「薬草のふるさと伊吹」			11 月	文化の日博物館無料開放
11 月	入館者 180 万人を突破 棚橋賞受賞「岐阜県博物館 “マイ・ミュージアム” ～来るべき世紀の新しい博物館を目指して～」 財団法人日本博物館協会表彰	平成 14 年 2 月	全国ハイビジョン手づくりソフトフェスタ 2001 グランプリ受賞 NEDO 共同研究事業太陽光発電システム完成	9 月	特別展「恐竜と生命の大進化～中国雲南 5 億年の旅～」
平成 10 年 3 月	ハイパーハイビジョン風土記「ひだ・みの紀行」飛騨街道・郡上街道編ソフト完成 アロサウルス骨格標本展示	3 月	バリアフリー対策事業小型モノレール(スロープカー) 完成	10 月	入館者 250 万人を突破
4 月	ハイパーハイビジョン風土記「ひだ・みの紀行」完成記念事業：風土記フォーラム「マルチメディアで調べる岐阜の魅力」	4 月	特別展「温泉展～湯の華からのメッセージ～」	11 月	文化の日博物館無料開放
7 月	特別展「つものつかぶとむし」	5 月	入館者 210 万人を突破	平成 20 年 5 月	日本生命財団から図書「岐阜県博物館総合案内」3,800 冊の寄贈を受ける
9 月	特別展「能面へのいざない～白山山麓から～」	10 月	特別展「中山道街道 400 年」	9 月	特別展「骨のあるやつ」
平成 11 年 7 月	特別展「恐竜時代～モンゴルと手取層群の恐竜たち～」	平成 15 年 7 月	特別展「昭和くらしの歩み～30 年代を中心に～」	11 月	文化の日博物館無料開放
9 月	入館者 190 万人を突破 特別展「恐竜時代」	9 月	特別展「野の幸・山の幸、岐阜～発見！キノコと山菜、薬草の魅力～」	平成 21 年 9 月	特別展「人、和して楽しむ～岐阜の文楽～」
10 月	特別展入館者 4 万人突破 特別展「水とまつり～古代人の祈り～」 特別陳列「円空展～魂を木に刻んで～」	平成 16 年 7 月	特別展「タイムトラベル 石器時代～大昔はどんなくらしをしていたの？～」	10 月	入館者 260 万人を突破
平成 12 年 7 月	特別展「海を越えた明治～ヨーロッパが愛した焼き物の美～」	9 月	特別展「里山ミュージアム～ドングリころころオオタカびゅん～」	11 月	文化の日博物館無料開放
9 月	特別展「すばらしき東濃の自然、再発見～巨大ヒノキが見てきた生き物たち～」	平成 17 年 4 月	高校生以下入館料年間無料化(特別展入館料無料化)	平成 22 年 7 月	特別展「川ーカワ・イイね！～流れがつくり出す自然～」
11 月	入館者 200 万人を突破	5 月	入館者 220 万人を突破	11 月	文化の日博物館無料開放
平成 13 年 7 月	特別展「あのころいた鳥～そういえばトキもおつ	7 月	特別展「タイムトラベル 石器時代～大昔はどんなくらしをしていたの？～」	平成 23 年 9 月	開館 35 周年記念特別展「濃尾震災 120 年」
		9 月	特別展「『名水・温泉・名勝』展～水と大地のハーモニー～」	11 月	文化の日博物館無料開放
		平成 18 年 4 月	開館 30 周年記念式典挙行 開館 30 周年記念特別展「緑いきいき！岐阜の森」	平成 24 年 7 月	特別展「ジオペディアぎふ」
		5 月	開館 30 周年記念植樹 モリゾー・キッコロ来館 全国植樹祭中濃サテライト会場～来館者全員招待入館～	9 月	特別展「飛騨・美濃の信仰と造形－古代・中世の遺産－」
		8 月	入館者 240 万人を突破	平成 25 年 9 月	特別展「岐阜、染と織の匠たち」
				11 月	文化の日博物館無料開放
				平成 26 年 2 月	入館者 270 万人を突破
				7 月	特別展「奇なるものへの挑戦 明治大正 / 異端の科学」
				9 月	特別展「里山いま昔 一人と自然 あたたか“絆”を求めて」
				11 月	文化の日博物館無料開放

5 歴代館長名簿

	在職期間 (年度)	氏 名		在職期間 (年度)	氏 名
1	昭和 51 年	小 幡 忠 良	12	平成 9 年 ～ 平成 10 年	高 田 晃
2	昭和 52 年 ～ 昭和 54 年	松 尾 克 美	13	平成 11 年 ～ 平成 12 年	遠 藤 祐 神
3	昭和 55 年 ～ 昭和 56 年	大 橋 桃之輔	14	平成 13 年 ～ 平成 14 年	高 橋 宏 之
4	昭和 57 年 ～ 昭和 58 年	吉 本 幹 彦	15	平成 15 年 ～ 平成 16 年	武 山 柝 司
5	昭和 59 年	関 谷 美智男	16	平成 17 年	下 畑 五 夫
6	昭和 60 年 ～ 昭和 61 年	廣 田 照 夫	17	平成 18 年	古 川 和 明
7	昭和 62 年 ～ 昭和 63 年	森 崎 利 光	18	平成 19 年 ～ 平成 20 年	高 屋 一 行
8	平成 元年 ～ 平成 2 年	伊 藤 秀 幸	19	平成 21 年	浅 野 裕 司
9	平成 3 年 ～ 平成 4 年	篠 田 幸 男	20	平成 22 年	石 田 克
10	平成 5 年 ～ 平成 6 年	横 山 勢津男	21	平成 23 年 ～ 平成 24 年	河 合 正 明
11	平成 7 年 ～ 平成 8 年	清 水 廣 美	22	平成 25 年 ～ 平成 26 年	後 藤 弘 之

6 施設・設備

(1) 博物館



主要室（名称及び面積）

本 館	室 名	面積 (㎡)	マイ・ミュージアム	室 名	面積 (㎡)
2 階	第 1 収 蔵 庫	314.1	1 階	エ ン ト ラ ン ス ホ ー ル	76.0
	第 2 収 蔵 庫	126.0			
	第 3 収 蔵 庫	192.0	2 階	マイミュージアムギャラリー 収 蔵 庫 室	202.3 25.3 18.5
	第 4 収 蔵 庫	99.4			
	第 5 収 蔵 庫	55.0			
3 階	自然展示室 1	583.8			
	自然展示室 2	478.8			
	郷土学 習 室	95.4			
	講 修 室	174.5			
	研 修 室	93.2			
	第 6 収 蔵 庫	142.8			
4 階	人文展示室 1	942.3	3 階	ハ イ ビ ジ ョ ン ホ ー ル 室	192.3 47.0
	人文展示室 2	478.8			
	特別展示室	193.2	4 階	収 蔵 庫 等	281.3
	図 書 資 料 室	232.2			
	特別収蔵庫	142.8			
本 館 合 計		4,344.3	マイ・ミュージアム棟合計		842.7

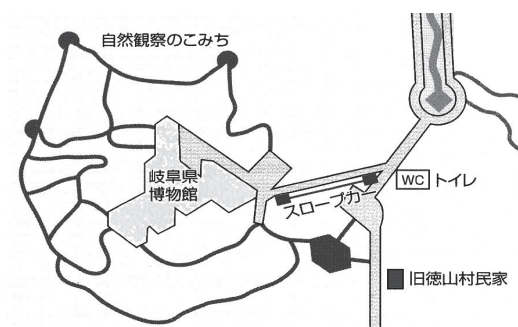
(2) 館外施設

①自然観察のこみち

館内における“郷土の自然”の展示に対応し自然環境の中に生きた展示として、季節とともに移り変わる自然のすがたを観察できるようにしたこみちである。

全長約 830mで、途中見晴らし台が 3 か所、ツツジの群生地、百草園、マンサクの林などが設けられている。

なお、樹林の特徴などが学習できるようグリーンアドベンチャー常設コースとして、樹木にQ&Aパネルを設置している。



自然観察のこみち

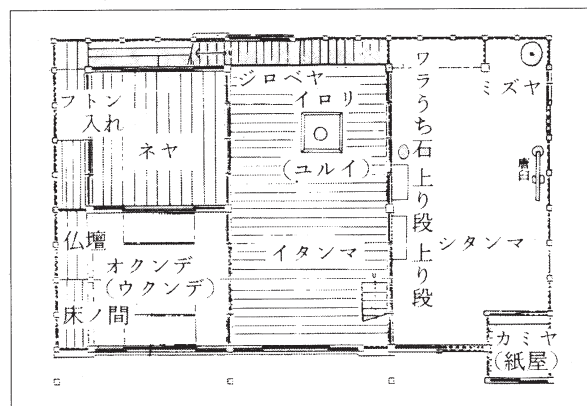
②旧徳山村民家

徳山ダム建設に伴って、徳山村は閉村となり、揖斐川町になったが、徳山の生活を後世に語り継ぐため、当時徳山村戸入在住の宮川澄雄さんから家屋の提供を受け、昭和 62 年 10 月 7 日、移築復元を完了したもので、生活用具なども展示し、無料開放している。なお、平成 13 年 9 月、茅葺屋根の一部葺き替えを実施した。また、平成 26 年 8 月の大雨で破損した屋根の一部を 10 月に修繕した。

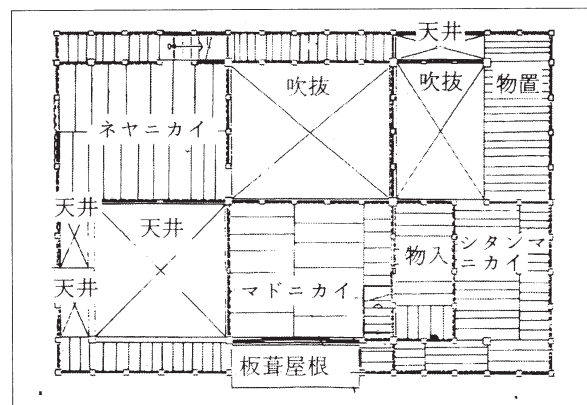
- ・様 式：木造かやぶき 2 階建、南平入り
- ・主 材：ブナ、トチ
- ・建 面 積：120.97 ㎡
- ・延 面 積：197.48 ㎡
- ・間 取 り：右図参照
- ・建築年代：幕末から明治初年ごろと推定
- ・屋 根：入母屋、切り落とし窓つき



旧徳山村民家



▲ 1 階間取り図

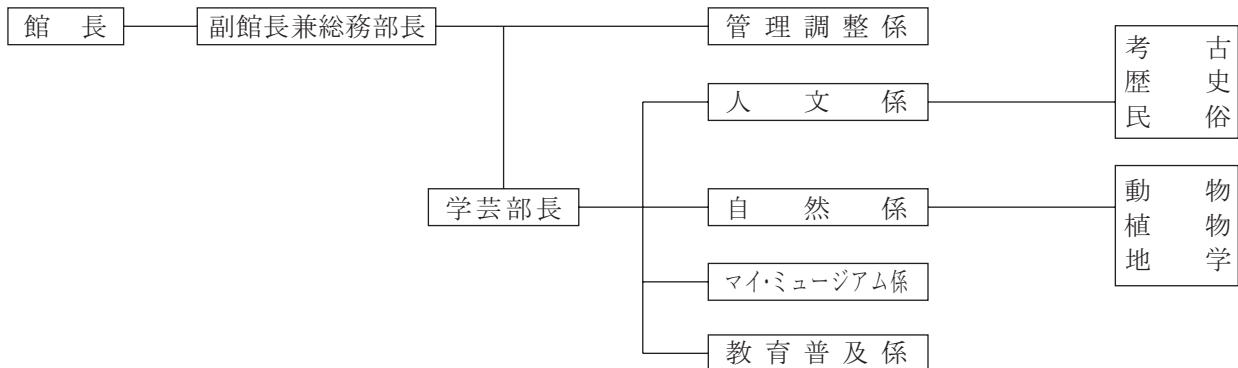


▲ 2 階間取り図

Ⅱ 平成26年度のあゆみ

1 職員

(1) 機構



(2) 職員名簿

職名(担当)	氏名	職名(担当)	氏名	職名(担当)	氏名
館長	後藤 弘之	【学芸部】		[マイ・ミュージアム係]	
副館長兼総務部長	柳 生一成	学芸部長	岡田 吉孝	課長補佐	加藤 信男
【総務部】		[人文係]		〃	河合 清太
[管理調整係]		課長補佐(歴史)	山田 昭彦	[教育普及係]	
課長補佐	山田 充宏	〃(考古)	長屋 幸二	課長補佐	松井 健治
主査	杉山 真弓	主任(民俗)	南本 有紀	主査	近藤 大典
〃	二村 博樹	[自然係]	守屋 靖裕	学芸業務専門職	巽 成生
主任	大野 清美	課長補佐(地学)	西谷 徹	〃	石田 克苑
管理業務専門職	藤田 敦子	〃(植物)	船戸 智	〃	池田 詩苑
〃	米倉 響子	主査(動物)	説田 健一		
〃	中嶋 睦美	主事(地学)	河部 壮一郎		
〃	福島 江里菜				
〃	堀 奈葵穂				
〃	阿部 奈津希				
雇員	瀬 瀬 泰子				

(3) 異動

転出者	副館長	宮腰 哲也	転入者	副館長	柳 生一成
	学芸部長	豊田 文秀		学芸部長	岡田 吉孝
	課長補佐	田中 実		課長補佐	山田 充宏
	〃	平澤 啓介		〃	松井 健治
	主査	澤村 雄一郎		主査	近藤 大典
	学芸業務専門職	久保 貴志		学芸業務専門職	池田 詩苑

2 岐阜県博物館協議会

岐阜県博物館協議会は、博物館法及び岐阜県博物館条例に基づいて設置されている機関で、岐阜県博物館長の諮問に応じるとともに、館長に対して意見を述べる機関である。委員は次のとおりである。

氏 名	現 職 名
井 藤 さやか	岐阜県PTA連合会母親委員
◎ 清 田 善 樹	岐阜聖徳学園大学名誉教授
清 水 優 子	中部学院大学短期大学部附属桐が丘幼稚園長
杉 山 博 文	岐阜女子大学理事長
須 山 知 香	岐阜大学教育学部准教授
高 木 俊 徳	岐阜放送執行役員
高 木 洋	日本考古学協会員（前岐阜市歴史博物館長）
日 置 絹 子	岐阜県小中学校校長会、関市立下有知小学校長
真 能 秀 久	中日新聞岐阜支社長
馬 淵 旻 修	岐阜地理学会常任理事・編集委員長
山 内 雄 敦	NHK岐阜放送局長
山 田 京 子	岐阜県友の会理事・岐阜県博物館同人

◎会長（平成26年9月24日現在 五十音順・敬称略）
任期は平成26年9月24日から平成28年9月23日

（開催状況）

月 日 11月12日（水）
場 所 岐阜県博物館 講堂
議 題

○報告事項

（1）岐阜県博物館の概要と現状について

○協議事項

岐阜県博物館の現状と望ましい姿について

○主な提案

- ・学校との連携に関すること
- ・施設・設備の改善に関すること
- ・博物館の特色づくりに関すること
- ・企画展、マイミュージアムギャラリー展示の充実に関すること
- ・サポーター活動の充実に関すること
- ・百年公園の活用に関すること

3 日誌抄

4. 1 人事異動に伴う辞令交付
- 5 MMG展示「円空彫り作品展」(~5/11)
- 16 里山ウォッチング
- 26 企画展「ひだみの 古世代の記憶
ー生命の進化と大量絶滅ー」(~6/29)
- 26 体験農園で種まきー古民家で里山体験ー
- 29 家族で里山オリエンテーリング
5. 3 竹でおもちゃをつくろう
- 3 講座「岐阜県の円空仏」
- 5 木でこいのぼり・五月人形をつくろう
- 6 まが玉をつくろう
- 10 ジオロちっく・パーク
- 11 古文書講座「戦国大名の文書を読み解こう」
- 17 窯煎り茶をつくろうー古民家で里山体験ー
- 17 ジオロちっく・パーク
- 21 里山ウォッチング
- 24 魚の捕り方教えますーバイオトープの魚調べー
- 24 ジオロちっく・パーク
- 31 MMG展示「能・狂言面展〜薪能「くるす桜」の里から〜」(~7/6)
- 31 むかしたんけんたい
- 31 ジオロちっく・パーク
6. 7 まゆ人形をつくろう
- 7 ジオロちっく・パーク
- 14 菖蒲まつりけんぱくワークショップ
- 14 ジオロちっく・パーク
- 15 菖蒲まつりけんぱくワークショップ
- 18 里山ウォッチング
- 21 ジオロちっく・パーク
- 28 ジオロちっく・パーク
7. 4 特別展「奇なるものへの挑戦 明治大正／異端の科学」(~8/31)
- 5 葉脈標本づくり
- 12 県博に口裂け女現る！
- 16 里山ウォッチング
- 19 MMG展示「テツドウモケイで岐阜を楽しもう！〜ぎふ・ミニチュア・クルーズトレイン〜」(8〜/17)
- 19 家族で昆虫標本をつくろう
- 26 ナイトウォッチングNo.1
- 26 大人のための博物館講座「脳形態から迫る古生物の姿〜解剖学と古生物学が会おうとき〜」
- 27 火おこし器をつくろう
8. 1 ナイトウォッチングNo.2
- 3 むかしのおもちゃをつくろう（紙つばめ）
- 16 山口敏太郎の妖怪トーク
- 17 まが玉をつくろう
- 23 織りもの体験をしよう
- 24 特別展記念講演会「明治のオカルトブームについて」
- 30 MMG展示「木目透かし彫り吉祥彫〜銘木と匠が織り成す新世界〜」(~10/5)
9. 6 どうぶつたんけんたい
- 7 古文書講座「戦国大名の文書を読み解こう」
- 12 特別展「里山いま昔一人と自然あらたな“絆”を求めてー」(~11/16)
- 17 里山ウォッチング
- 20 ジオロちっく・パーク
- 21 講座「山の神仏と願興寺（御嵩町）の仏像」
- 27 体験農園の収穫祭ー古民家で里山体験ー
- 27 ジオロちっく・パーク
10. 4 ジオロちっく・パーク
- 5 荒ぶる獣たちー21世紀の獣とひとのかかわりー
- 11 ジオロちっく・パーク
- 11 大人のための博物館講座「博物館 × オカルト × 岐阜特別展「奇なるものへの挑戦」ができるまで」
- 12 関ヶ原合戦の地を訪ねて
- 15 里山ウォッチング
- 18 MMG展示「ふるさとを彫る〜木版画の風景〜」(~11/24)
- 18 ジオロちっく・パーク
- 18 オータムフェスティバルけんぱくワークショップ
- 19 オータムフェスティバルけんぱくワークショップ
- 19 願興寺（御嵩町）拝観会
- 25 岐阜にちなんだ謡曲「養老」を謡ってみよう
- 25 ジオロちっく・パーク
11. 1 草木染にしようせん！
- 1 特別企画「宇宙への誘い〜きぼうハイビジョン映像で学ぶ宇宙の魅力〜」
- 3 秋まつりけんぱくワークショップ
- 3 モニタリングサイト1000里地調査とはなにか
- 15 徳山のくらしを体験しよう
- 19 里山ウォッチング
- 22 企画展「発掘速報展 発掘された飛騨・美濃の歴史」(~2/1)
- 22 たねであそぼう
- 23 SEK I いきいきフェスタ2014
- 30 古文書講座「戦国大名の文書を読み解こう」
12. 6 MMG展示「家族で楽しめる「レンズ付きフィルムコレクション」(~1/18)
- 6 大人のための博物館講座「石器から読み解く岐阜のあけぼの〜石器時代の「人」「社会」へのアプローチ〜」
- 17 里山ウォッチング
- 20 家族でつくるクリスマスかざり
- 23 切り折り紙のアート作品づくりー干支・正月飾り・恐竜などー
- 27 餅つきと花もちづくりー古民家で里山体験ー
1. 6 春の七草ウォッチング
- 7 七草がゆを食べよう
- 21 里山ウォッチング
- 24 展示解説 岩田西遺跡（岐阜市）を読み解く
- 31 MMG展示「福澤諭吉コレクション展〜今、甦れ！独立自尊の精神〜」(~3/8)
2. 3 けんぱく移動博物館「飛騨の紙絵馬」(~2/24)
- 7 企画展 日本自然科学写真協会写真展「自然を楽しむ科学の眼2014-2015」(~3/15)
- 7 収蔵庫探検 明治から昭和初期の剥製のはなし
- 8 移動展「新発見！岩田の遺跡の出土品」(~2/8)
- 18 里山ウォッチング
- 21 里山の自然を撮ろう
- 22 MMG関連講演会「福澤諭吉のユーモア精神」
- 28 里山の自然を撮ろう
- 28 木でひな人形をつくろう
3. 7 椎茸づくり 菌打ち体験ー古民家で里山体験ー
- 8 里山の自然を撮ろう
- 14 モニタリングサイト1000里地調査報告会
- 18 里山ウォッチング
- 21 むかしたんけんたい
- 22 大人のための博物館講座「絶滅した珍獣『デスモスチルス類』の進化史を塗りかえる新発見！」
- 28 どうぶつたんけんたい

4 実施事業の概要

「県民が郷土の自然・歴史・文化を理解し、未来を展望することにより、ふるさとに一層の親しみと誇りがもてる博物館を目指します。」を平成 26 年度の運営の方針として、特別展などの企画展、マイミュージアムギャラリー展示を開催した。その他、参加体験型の教育普及事業として 184 回の催し物、学芸員による 19 回の出前授業や 17 回の講師派遣など多くの事業を展開した。特別展の開催回数については、平成 20 年度から平成 23 年度までは 1 回、平成 24 年度については 3 回行った。平成 25 年度と平成 26 年度については、2 回行うことができた。特に特別展「奇なるものへの挑戦～明治大正／異端の科学～」では、全国各地から多くの方々にご覧いただいた。

(1) 展示活動

特別展・資料紹介展・マイミュージアムギャラリーの展示を下表のとおり実施した。

(2) 調査研究活動

人文分野では、平成 27 年度の特別展に関連した織豊期関連の資料をはじめとして県内外資料の調査を行った。自然分野では、百年公園の里山の動植物生態調査（モニタリング 1000）、県内植物分布調査、平

成 28 年度恐竜展に向けた調査などを行った。

マイ・ミュージアムでは、当館収蔵品と図書館の蔵書のデータベースの構築を行った。また、マイミュージアムギャラリー出展作品の調査研究や出展者の新規開拓を行った。

(3) 資料収集活動

人文分野では、成木一成氏による作品の寄贈等の受入を行った。自然分野では、長年寄託をされていた日本最古の石（上麻生礫岩）の寄贈をしていただいた。

(4) 教育普及活動

わくわく体験コーナーでは、毎週日曜日の開催が定着したことと、館外での催し物に積極的に参加したことで昨年度よりも 3 割増の利用があった。

団体等の利用では、学校向けの生活科・社会科・理科の学習プログラムの利用が多かった。今年度開発した学習プログラムの実施に博物館サポーターの支援を得て、充実した学びを提供した。

博物館サポーターの活動では、サポーター設置要綱により、活動内容を明確にして、サポーター研修を義務付けて実施することとした。

5 展示活動

展 示 名	期 間	展 示 内 容	入館者数
常設展	年 間	人文関係では、人文展示室 1 及び 2 の可変展示コーナーや独立ケースの展示替えを 15 回行った。昭和の居間再現コーナーでは季節感を出す展示替えに努めた。また、人文展示室 1 では F C 岐阜を紹介するコーナーを新設した。自然関係では、新設した可変展示コーナー（「ミニ企画コーナー」、「学芸員なう」など）を中心に約 10 回展示替えを行った。	36, 195 (常設展のみ)
企画展 「ひだみの 古生代の記憶—生命の進化と大量絶滅—」	4/26 (土) ～ 6/29 (日)	岐阜県では、恐竜がいた頃よりもずっと昔の「古生代」という時代の地層から、日本最古の化石をはじめ多くの化石資料が見つかった。また、太古の生物が繁栄した様子を表す数多くの化石に加え、大量絶滅を記録した重要な地層が残されている。このような生物の歩みの記憶を県内産の化石を中心とした資料や復元画・復元模型を通して紹介した。	8, 260
特別展 「奇なるものへの挑戦 明治大正 / 異端の科学」	7/4 (金) ～ 8/31 (日)	明治大正期、急激な近代化により科学への関心が芽生える一方、不可思議な現象が人々の興味をとらえ、心霊学や催眠術が千里眼（超能力）ブームを巻き起こし、精神療法・霊術が大流行した。福来友吉や田中守平ら、知的好奇心をもって野心的に超常現象に挑んだ近代郷土の先人の足跡を発掘し、知られざる近代史をひも解いた。正面から異端の科学にまつわる人や社会をとらえたことから、各層に広く関心と呼び起こす展覧会となった。	9, 772
企画展 「里山いま昔 一人と自然 あらたな“絆”を求めて—」	9/12 (金) ～ 11/16 (日)	里山は、長年にわたる人との関わりを通して、自然が維持されてきた。近年、生活環境の変化や里山で働く人々の高齢化のため、里山と人との関わりが減少し、自然環境が大きく変化してきた。里山の歴史や自然にかかわる資料を展示し、県百年公園内で体験活動を実施することで、里山の魅力を提示し、人と里山との新たな関わり方をあらためて考える機会を提供した展覧会となった。	8, 213
発掘速報展 「発掘された飛騨・美濃の歴史」	11/22 (土) ～平成 27 年 2/1 (日)	岐阜県文化財保護センターが近年調査した遺跡について、その成果を紹介した。刀装具や茶器などが見つかり、中世の有力者がこの地にいたことをうかがわせる岐阜市岩田西遺跡。縄文時代前期や古代の竪穴建物跡が見つかった下呂市金山町下切遺跡など 4 遺跡の調査結果を紹介した。出土品を通して、郷土で暮らした先人たちの姿が垣間見る機会となった。	3, 236
日本自然科学写真協会写真展 「自然を楽しむ科学の眼 2014-2015」	平成 27 年 2/7 (土) ～ 3/15 (日)	この写真展は、日本自然科学写真協会 (SOCIETY OF SCIENTIFIC PHOTOGRAPHY) が 1978 年に設立されてから、ほぼ毎年開催されてきた展覧会で、プロとして活躍する写真家の作品も含め、動植物、水中、天体、地形、風景、顕微鏡写真などを展示した。自然の中の不思議さ、自然と人間との関わり、そして、自然の大切さなどを感じる機会となった。	2, 374
移動展「飛騨の紙絵馬」	平成 27 年 2/7 (土) ～ 3/15 (日)	岐阜県図書館企画展示室において、飛騨地域独特の風習である紙絵馬と絵馬市を紹介する移動展を実施した。国の記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財「飛騨の絵馬市の習俗」でよく知られている高山市・松倉観音の紙絵馬のほか、旧上宝村等の事例について紹介した。	2, 961
移動展 「新発見！岩田の遺跡の出土品」	平成 27 年 2/7 (土) ～ 2/8 (日)	岐阜市岩公民館において、平成 20 年度以降岐阜県文化財保護センターが実施した岩田地区の発掘調査の成果を展示。中屋敷古墳・中屋敷遺跡、岩田東 A 遺跡、岩田西遺跡の出土品計 53 点を紹介した。地元に密着した遺跡の資料展示であったため、地域住民の郷土に対する関心や愛着を高める機会となった。	120
マイミュージアムギャラリー	(P15 参照)	「円空彫り作品展」をはじめ、7 回の展示を実施した。	—

特別展 奇なるものへの挑戦 明治大正／異端の科学

1 開催期間

平成26年7月4日（金）～平成26年8月31日（日）

2 主催・共催・後援

主催 岐阜県博物館、岐阜新聞・ぎふチャン
後援 NHK岐阜放送局
協力 日本心理学会心理学史小委員会

3 趣旨

明治大正期、急激な近代化により科学への関心が芽生える一方、不可思議な現象が人々の興味をとらえ、心霊学や催眠術が千里眼（超能力）ブームを巻き起こし、精神療法・霊術が大流行した。

福来友吉や田中守平ら、知的好奇心をもって野心的に超常現象に挑んだ近代郷土の先人の足跡を発掘し、知られざる近代史をひも解く。（展示資料数 約400点）

4 展示構成

- 1 奇なるものへの好奇心
 - 1-1 こっくりさん
 - 1-2 「妖怪博士」井上円了
- 2 催眠術ブーム
 - 2-1 催眠術球
 - 2-2 ハウツー本
- 3 東京帝国大学と心理学
 - 3-1 心理学の黎明
 - 3-2 心理学者・福来友吉
- 4 九州帝国大学と精神医学
 - 4-1 九州帝国大学の精神病棟
 - 4-2 『ドグラ・マグラ』草稿
- 5 千里眼ブーム
 - 5-1 千里眼
 - 5-2 千里眼事件
- 6 中村古峯と『変態心理』
- 7 その後の福来博士
 - 7-1 変態心理研究の大家
 - 7-2 教育者と心霊研究家
 - 7-3 野原櫻州の念写実験
- 8 霊術ブーム
 - 8-1 気合術（危険術）
 - 8-2 元祖・桑原俊郎
 - 8-3 その他の霊術家
 - 8-4 臼井甕男の霊気
 - 8-5 カリスマ・田中守平
 - 8-6 日本心霊学会
- 9 健康法ブーム
 - 9-1 岡田式静坐法
 - 9-2 その他の健康法
- 10 熊崎健翁の姓名学
- 11 奇なるものの行方

11-1 口裂け女

11-2 つちのこ

12 奇なるものを楽しむ

12-1 見世物小屋

12-2 お化け屋敷

13 現代のオカルトブーム

【主な展示資料】

複式催眠球、クロノスコープ、念写実験器具、『ドグラ・マグラ』草稿、久米民十郎「鶏の夜啼する声」、見世物絵看板

※体験コーナー、サポーター展示

生首（奇術）体験

明治時代のこっくりさん（再現）

太霊道の霊子板（複製）

パネル展示

（動物磁気とは／心理学とは／心理学の出現）



展示室の様子

5 関連事業

(1) サポーター研修「安田興行社と人間ポンプ」

講師 鵜飼正樹（京都文教大学教授）
日時 7月5日（土） 11:00～12:00
場所 ハイビジョンホール

(2) 「県博に口裂け女現る！」

講師 牛抱千夏
（山口敏太郎タートルカンパニー女優）
日時 7月12日（土） 9:40～15:00
場所 人文展示室2、本館4階ロビー

(3) 「山口敏太郎の妖怪トーク」

講師 山口敏太郎（作家、オカルト研究家）
日時 8月16日（土） 13:30～15:30
場所 ハイビジョンホール

(4) 「明治のオカルトブームについて」

講師 一柳廣孝（横浜国立大学教授）
吉永進一（舞鶴工業高等専門学校准教授）
日時 8月24日（日） 13:30～15:30
場所 ハイビジョンホール

(5) サポーターによる事業

- ・オリジナルキャラクター作成
- ・缶バッジ配布

特別展 里山いま昔—人と自然 あらたな“絆”を求めて—

1 開催期間

平成 26 年 9 月 12 日（金）～ 11 月 16 日（日）

2 主催

主催 岐阜県博物館、中日新聞社

3 趣旨

里山は樹林地や農地など多様な自然環境を含み、長年にわたる人とのかかわりを通して、自然が維持されてきた。しかし、近年、産業構造や生活様式の変化のため、里山と人とのかかわりが減少し、里山の保全状況が悪くなったため、その恵みを持続的に利用することが難しくなってきた。

当館は、百年公園内の里山の中に立地し、環境教育や自然体験の場として、公園の自然を生かした様々な活動を企画してきた。本展覧会では、里山の歴史や自然にかかわる資料を展示し、公園内で体験活動を実施することで、県民に里山の豊かさや価値を提示し、人と里山との新たなかかわり方を提案することにした。

4 展示構成

(1) やまの記憶—里山の暮らしと景観—

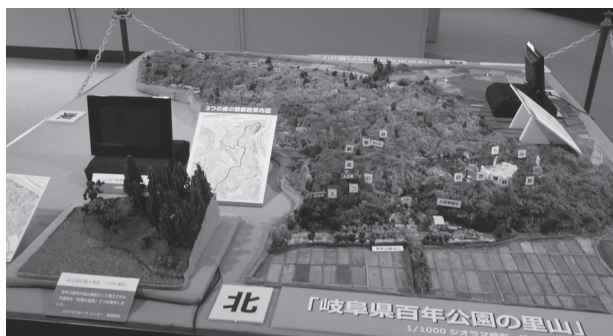
里山の定義を解説し、近世から近代の文書や絵図などの資料を展示することで、里山の景観の変遷を概観した。特に荒廃した里山に設置された近代の治山施設や松茸の物流及び観光利用に注目した。

【主な展示資料】百年公園のジオラマ模型、山田村村定、山田村・上白金村入会林山草木植付願、倉知菌山地図、松茸出荷用シールなど

(2) やまの息吹—里山のいきものたち—

里山で見られる生物について、モニタリングサイト 1000 里地調査の結果を中心に紹介した。あわせて、近世の獣害の様子や山犬狩りの文書なども展示し、人と生きもののかかわりについても考察した。

【主な展示資料】蜂屋山犬狩り一件覚、百年公園の動植物（標本および映像）など



百年公園のジオラマ模型（サポーター製作）

(3) あらたな“絆”を求めて—里山と人との絆のものがたり—

当館、百年公園、サポーターによる里山の資源を活用した体験講座の運営の様子を中心に紹介し、里山と人との新たなかかわり方を模索した。

【主な展示資料】粗朶沈床の模型、ミツバチ巣箱など



展示会場の様子

5 関連事業

(1) 講座・講演会

① 荒ぶる獣たち

— 21 世紀の獣とひとのかかわり —

講師 角田 裕志（岐阜大学応用生物科学部）

10 月 5 日（日）13:30-15:00

② モニタリングサイト 1000 里地調査とは何か

講師 高川 晋一（財団法人 日本自然保護協会）、
渡邊 和昭（“ふかがや”ふるさとみなおしたい）、
梶浦 敬一（ぎふ哺乳動物研究会）、
当館学芸員

11 月 3 日（月・祝）10:00-15:00

(2) けんぱく教室

① 案内人と歩く里山ウォーキング

講師 当館学芸員

9 月 20 日（土）

27 日（土）

10 月 4 日（土）

11 日（土）

25 日（土）

11 月 8 日（土）

16 日（日）

企画展 ひだみの 古生代の記憶—生命の進化と大量絶滅—

1 開催期間

平成 26 年 4 月 26 日（土）～ 6 月 29 日（日）

2 主催

主催 岐阜県博物館

3 趣旨

岐阜県では、恐竜がいた頃よりもずっと昔の「古生代」という時代の地層から、日本最古の化石をはじめ多くの化石資料が見つかった。また、太古の生物が繁栄した様子を表す数多くの化石に加え、大量絶滅を記録した重要な地層が残されている。このような生物の歩みの記憶を、県内産の化石を中心とした資料や復元画・復元模型を通して紹介した。（展示資料数 約 300 点）



展示室前の展示

4 展示構成

(1) 古生代という時代

古生代が地球史の中でどのような位置づけにあるのか解説し、また生命史においてどのように重要な時代であったか、化石だけでなく復元画や復元模型、古代魚の液浸標本を展示しながら時系列順に展示した。

【主な展示資料】奥飛騨温泉郷の化石、金生山の化石



展示室内の様子

(2) Special Topic 『石燕』スピリファー類のヒミツ

古生代を代表する動物である腕足動物の形に着目した最新研究を紹介した。流体シミュレーションからわかった腕足動物の姿勢を紹介するとともに、実物の化石標本を再現された姿勢通りに展示することで、化石研究がどのようにして行われ、そして何が明らかになってきたのか説明した。

【主な展示資料】腕足動物化石、流体シミュレーション動画など

(3) 復元画・復元模型で見る古生代の世界

岐阜の古生代の様子を描いた復元画を、実物化石と共に展示し、当時の海の様子をわかりやすく展示した。また、多くの復元模型も展示することで、化石標本のみからではイメージすることが難しい、古生代の生物の魅力を伝えた。

(4) 体験コーナー

化石スケッチコーナーを設け、好きな化石標本を自由に描いてもらった。できあがった作品は、展示室入口に掲示も行った。



体験コーナー

5 関連事業

(1) サポーター向け展示解説

平成 26 年 4 月 26 日（土）

5 月 1 日（木）

11:00 ～ 12:00

(2) 催し物「ジオロちっく・パーク」

平成 26 年 5 月 10 日（土）

5 月 17 日（土）

5 月 24 日（土）

5 月 31 日（土）

6 月 7 日（土）

6 月 14 日（土）

6 月 21 日（土）

6 月 28 日（土）

13:00 ～ 16:00

発掘速報展 発掘された飛騨・美濃の歴史

1 開催期間

平成26年11月22日(土)～平成27年2月1日(日)

2 主催・共催

岐阜県博物館 岐阜県文化財保護センター

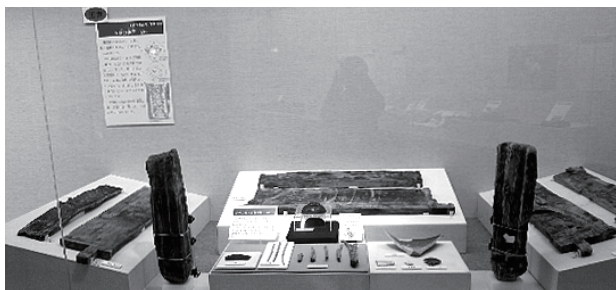
3 趣旨

岐阜県文化財保護センターが近年調査した遺跡について、その成果を広く県民に紹介する展覧会。今回は下呂市下切遺跡、岐阜市岩田西遺跡、大垣市荒尾南遺跡、可児市今渡遺跡の4遺跡について紹介した。今回は周辺の遺跡を紹介するなどして、調査成果から地域の歴史を照射することを心がけた。

4 展示構成

①下呂市下切遺跡

飛騨では縄文時代前期に、磨石・石鏃に加え、石製土掘り具・石錘が組成に安定して加わるようになり、縄文時代の生業を支えたとされる。基本器種が出土することなどを示した。古代、東山道飛騨支路再整備の時期に重なる集落が確認され、飛騨支路の経路を考えるうえで重要な遺跡であることを示した。近代では、鍛冶跡関連資料と、井戸跡出土資料を紹介した。井戸は深さ4mの石組みで、底にはコウヤマキの板で方形に囲った水溜を備えた立派なものである。井戸の底からの出土品には、清浄さを求めたまつりの道具がみられる。



下呂市下切遺跡井戸出土資料の展示風景

【主な展示資料】縄文土器（前期）、下呂石製石匙、須恵器坏、轆羽口、鍛造剥片、井戸出土の櫛・箸・火つけ木 ほか

②岐阜市岩田西遺跡

古代の硯や瓦などがみられ、周辺に寺院関連の施設があったことが想定された。中世の資料は中国製の青磁鉢や銅錘、刀装具など有力武将の存在をうかがわせるものが多い。円盤状に加工された陶片が古代から近代まで見られるが、特に江戸時代に多い。実験により、打ち欠きでは円盤状に成形することは難しく、折り取りによる加工である可能性が高いことを確認し、断面のリングの観察から意図的な加工か単なる割れであるか判断した。土錘・陶錘も700点以上出土しており、長良川などでの漁撈活動の活発さがうかがえた。

【主な展示資料】神子柴系石斧、流路脇に埋納された須恵器、陶製硯、瓦、墨書土器、円盤状陶片、擬漢式鏡破片、刀装具 ほか

③大垣市荒尾南遺跡

弥生時代から古墳時代の遺跡として知られているが、古代以降の資料を中心に紹介した。鎌倉時代から一般化する牛馬耕が、平安時代には挿入されていたことが馬鍬や唐鋤から明らかとなった。井戸近くで、本朝十二銭のひとつ富寿神宝が出土している。赤みがかった色調を残し、文字も明瞭である。

【主な展示資料】絵画が描かれた弥生土器、井戸水溜に用いた曲物、富寿神宝、馬鍬、唐鋤、二朱金 ほか

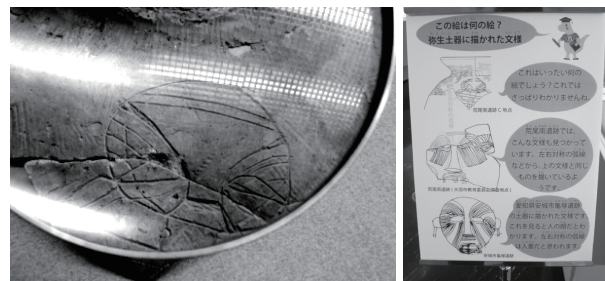
④可児市今渡遺跡

室町時代から江戸時代にかけて、火葬墓から土葬墓に推移していく様子が明らかとなっている。火葬墓と土葬墓を比較し、どちらでも六文銭が供えられていることなどを紹介した。

【主な展示資料】火葬墓骨蔵器、墓に埋納された銭、煙管 ほか

◆見どころ案内

今回の展覧会の主たるターゲットは大学生以上の年代であるが、図などをふんだんに用いて子供にも伝わるよう留意した見どころ案内を設置した。子供用ガイドブックも、見どころ案内を中心に構成した。



見どころ案内

5 関連事業

展示解説 1/24(土)13:00～14:00 文化財保護センター職員が、スライドを用いて調査の様子を紹介し、博物館学芸員が展示資料について解説した。40名の参加者が、熱心に解説に耳を傾けてくださった。



展示解説の様子

第35回日本自然科学写真協会写真展－自然を楽しむ科学の眼 2014-2015－

1 開催期間

平成27年2月7日(土)～平成27年3月15日(日)

2 主催

主催 岐阜県博物館 日本自然科学写真協会

3 後援 環境省

4 趣旨

科学の眼を通して自然と向き合うことの楽しさと感動を伝えるために、日本自然科学写真協会 (SOCIETY OF SCIENTIFIC PHOTOGRAPHY 略称 SSP) では、毎年「SSP 写真展」を開催している。今回で 35 回目を迎えるこの写真展では、動植物・昆虫・自然風景・顕微鏡等の様々な分野の自然科学写真 150 点を展示した。この写真展を通して、自然の美しさや神秘を感じていただくとともに、自然と人間との関わり方や、自然の大切さ等について考える契機にさせていただくことをねらいとした。

5 展示構成

博物館で開催する写真展として、写真作品と関連のある当館の実物資料を展示するとともに、科学写真の背景にある科学的な仕組みを体験を通して、写真作品をより身近に感じていただくことができるよう工夫した。

(当館展示資料数 約 70 点)

- (1) 植物・菌類：6 点
- (2) 哺乳類・両生爬虫類：12 点
- (3) 鳥類：21 点
- (4) 昆虫類：37 点
- (5) 山岳・天体・自然風景：など 46 点
- (6) 顕微鏡・科学：11 点
- (7) 水中・水棲生物：17 点

※岐阜県在住の SSP 会員として、常川 真氏の「ユウレイガガンボの飛翔」、作美善男氏の「冬の大三角」を含む



「はく製」や「鳥の鳴き声」を作品とともに展示

(8) 体験コーナー

写真作品とともに、毎回、自然科学写真の背景にある仕組みを体験を通して理解していただくコーナーを充実させている。今回は、作品と関連して雪や氷の神秘さを体験していただくコーナーを設置した。



体験コーナーの様子

次回の第 36 回写真展では、「映像部門」が新設されるとのこと。これに先駆けて、当館職員他が記録した映像作品を紹介した。



当館職員による映像コーナー

5 関連事業

(1) サポーター向け展示解説

平成 27 年 2 月 6 日 (金) 10:00 ～ 11:00

(2) 写真講座「里山の自然を撮ろう」

平成 27 年 2 月 21 日 (土)、28 日 (土) 3 月 8 日 (日)
13:30 ～ 15:30

(3) 体験コーナーでの解説

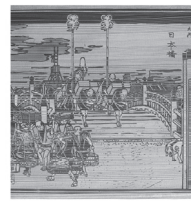
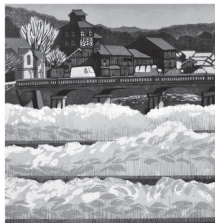
お客様のご要望により、解説員と担当学芸員が随時実施。

(4) SSP 会員による解説

土、日、祝日を中心に不定期で実施。

マイミュージアムギャラリー

1 展示内容

	展 示 会	展 示 内 容	
1	円空彫り作品展 出展者 円空彫り 絆の会 平成 26 年 4 月 5 日 (土) ～ 5 月 11 日 (日)	円空仏に魅せられた岐阜・各務原・関・春日井市等に在住する約 50 名による作品展。ヒノキ・イチイ・サクラなどの乾材を用いて制作した円空彫り作品約 100 体及び、円空に関する書籍・写真などの資料を展示した。	
2	能・狂言面展 ～薪能「くるす桜」の里から～ 出展者 臼田 大介(郡上市) 平成 26 年 5 月 31 日 (土) ～ 7 月 6 日 (日)	能面・狂言面の作品展。現代能面打ちの第一人者である見市泰男氏に師事しながら制作した作品 100 点以上の中から 50 点余を展示した。また、古今伝授の里の薪能「くるす桜」を紹介するコーナーを設けて、その魅力も紹介した。	
3	テツドウモケイで岐阜を楽しもう！ ～ぎふ・ミニチュア・クルーズトレイン～ 出展者 ぎふトレ 平成 26 年 7 月 19 日 (土) ～ 8 月 17 日 (日)	岐阜市を中心に活動する鉄道模型サークルの N ゲージ鉄道模型コレクション及びジオラマ作品展。鉄道模型を用いて岐阜の町を再現したジオラマ作品等 30 点余に加え、岐阜に縁のある N ゲージ鉄道模型 100 編成余を展示した。	
4	木目透かし彫り 吉祥彫 ～銘木と匠が織り成す新世界～ 出展者 柴田 和之(可児市) 平成 26 年 8 月 30 日 (土) ～ 10 月 5 日 (日)	長藤洸旺氏が考案した木目透かし彫り技法作品のコレクション展。高圧空気と研磨剤を噴射し、木目の間を彫り抜いて描いた東海道五十三次や富嶽三十六景、源氏物語の君たちなどの模写作品 60 点余を展示した。	
5	ふるさを彫る ～木版画の風景～ 出展者 ばれんの会 厚見 正紀(瑞浪市) 平成 26 年 10 月 18 日 (土) ～ 11 月 24 日 (月・振)	東濃地区在住の版画制作サークル 10 名による木版画作品展。作品は自分で絵を描き、版を彫り、紙に刷る「自画・自彫・自刷」によって制作。東濃地方を中心とするふるさと岐阜の風物を描いた多版多色刷り作品 44 点を展示した。	
6	家族で楽しめる 「レンズ付きフィルム」コレクション 出展者 可児 幸彦(笠松町) 平成 26 年 12 月 6 日 (土) ～平成 27 年 1 月 18 日 (日)	写真展を経営する傍ら収集したレンズ付きフィルムのコレクション展。未来技術遺産に登録された世界初のレンズ付きフィルムをはじめ、様々なメーカーから発売されたレンズ付きフィルムや広報媒体等 1000 点余を展示した。	
7	福澤諭吉コレクション展 ～今、甦れ！独立自尊の精神～ 出展者 坂本 浩一(多治見市) 平成 27 年 1 月 31 日 (土) ～ 3 月 8 日 (日)	福澤諭吉に関する資料のコレクション展。諭吉研究を行う中で収集した諭吉に関する資料から、新発見となった書簡をはじめ、著書や写真、書などに加え、諭吉と交流のあった人たちの資料等 90 点余を展示した。	

2 出展者による講座・実演等の開催

観覧者と出展者、あるいは観覧者同士の情報交流やふれあいの場として、また、体験を通して展示内容についての理解を深めてもらうために、出展者が主催者となって催し物を開催した。

第7回展示

「福澤諭吉コレクション展

～今、甦れ！ 独自立自尊の精神」

講演会 「福澤諭吉のユーモア精神」

日 時 平成 27 年 2 月 22 日（日）

13:00 ～ 14:30

講 師 坂本 浩一

場 所 ハイビジョンホール

出展者の坂本氏が、福澤諭吉の人物像について講演を行った。

坂本氏は、諭吉の孫である清岡瑛一氏との出会いから、それまで知らなかった諭吉の姿について学び、研究を始めている。諭吉について坂本氏は、「一万円札の人」、「学問のすすめを書いた人」といった難しいイメージが一般的であるが、実際は、誰にでも親切にし、誰とでも対等な関係を築こうとした人であり、愛とユーモアにあふれた人であるということを、諭吉に関する文献や資料の中から事例を挙げて説明していた。

講演中は坂本氏が、自身の想像した諭吉になりきって話すなど、ユーモアたっぷりに語っていた。また講演後は、参加者からも諭吉についての質問も数多くあり、諭吉の知られざる人物像に関する見識を深めていた。



講演会「福澤諭吉のユーモア精神」の様子

この講演会の他にも、各展示期間中には、出展者による制作実演や体験会が随時行われた。

① 第1回展示「円空彫り作品展」

・出展者による制作実演会を実施。制作した円空彫り作品は、希望する来場者にプレゼントされた。



第1回展示における円空彫り作品製作実演の様子

② 第3回展示「テツドウモケイで岐阜を楽しもう！ ～ぎふ・ミニチュア・クルーズトレイン～」

・Nゲージ鉄道模型の運転会及びジオラマ制作実演会を実施した。



第3回展示における運転会及び制作実演会の様子

6 調査研究活動

(1) 人文部門

①考古分野

ア 展示にかかわる調査研究など

常設展示では岐阜県文化財保護センター資料紹介コーナーを設置し、半期ごとに展示替えを行っている。前半期は赤保木遺跡出土の縄文土器の肩部に付された動物意匠を紹介した。亀にも蛙にも見える意匠であり、この動物意匠の観察を促すため名前を募集した。考えた名前を付箋に書き、ボードに貼ってもらうという試みであるが、半年で千枚を超える命名案が集まった。何に見えるかを問うより名前を付ける方が、自由度が高くウィットをきかせる余地もあり、楽しく参加することができたのであろう。蛙と見なしてケロリーヌ、ミカエル、岐阜らカエラなど。亀と見なしてカメモン、カメルン、ジェームスカメロンなど。ほかには背中の網模様をギョウザ、ラッカセイ、メロンパン、マンゴー、セミと見なしたり、土器に付いていることを重視してヘバリーナ、ペタリン、アカホギジョウモンドキヘバリといった学名風のものもあった。

発掘速報展では、岐阜市岩田西遺跡などの資料を紹介したが、報告書を踏まえながら、モノから地域を読み解くことができるような視点を重視して紹介した。

イ 寄贈資料・館蔵資料にかかわる調査研究など

寄贈を受けた館蔵資料の多くは不時発見の採集品である。未報告資料が多いため、当館調査研究報告において資料紹介を行っている。今年度は加茂郡八百津町で採集された石器について図化し、紹介した。越水遺跡採集のスクレイパーは、鋸歯縁を持つ特徴的な形態をしており、東海西部地域におけるナイフ形石器終末期文化の示準的な形態であることを示した。

また、縄文時代の飛騨地域における下呂石の獲得・消費スタイルについて考察し、東海縄文研究会での発表や論文としてまとめたり、愛知学院大学が行った土岐市大平遺跡の調査に参加するなどした。

②歴史分野

ア 展示にかかわる調査研究

平成27年度春季特別展として「天下人の時代～信長・秀吉・家康と美濃～」を開催する。岐阜の地は、織田信長、豊臣秀吉、徳川家康の三人が統一権力を形成していくなか、重要な役割を果たした。今回岐阜県に関わるものを中心として「天下人」に関する文化財を展示し、実物からその価値を理解するとともに織豊政権の形成にこの地が果たした役割を探る展覧会を計画している。それに関連して、資料調査並びに出展交渉を県内外にわたり継続実施中。以下主な資料調査先ならびに出展資料。

- ・東京大学史料編纂所（国宝「島津家文書」）
- ・毛利博物館（重要文化財「毛利家文書」）
- ・岡山大学附属図書館（重要文化財「信長記」）
- ・円徳寺（重要文化財「楽市楽座制札」）

- ・犬山城白帝文庫（「長篠合戦図屏風」・「小牧長久手合戦図屏風」（副本））

イ 館蔵資料などにかかわる調査・研究

公開講座・出前講座の実施等にとともに、館蔵の古文書や県内所在の古文書等の調査研究を進めた。

③民俗分野

ア 常設展示にかかわる調査研究

人文展示室1の岐阜国体資料を、昭和初期の学用品・児童雑誌・玩具に、FC 岐阜関係資料を、我が国博物館学の祖である棚橋源太郎の著書・パネルに展示替えした。前者は、博物館実習生の協力を得て、昨年度より継続して資料整理をしてきた資料群である。

テーマ展示として、2014年11月ユネスコ無形文化遺産に登録された本美濃紙について山中和紙とともに紹介する特集展示（2014年11月～2015年1月）を、2015年3月国重要無形民俗文化財に指定された長良川の鵜飼漁の技術を紹介する特集展示（2015年3～5月）を実施し、新規事業である移動展「飛騨の紙絵馬」（2015年2月）を県図書館で開催した。

また、人文展示室1および本館4階ロビーの紙漉き工程コルトンおよび合掌造り民家模型パネルを更新した。

イ 特別展にかかわる調査研究

特別展「奇なるものへの挑戦 明治大正／異端の科学」を開催した。話題性のあるテーマで前例のない展覧会であったため、反響が大きく、県外からの来館が多かった。来館できない遠方在住者を中心に図録も好評で、関連事業の講演会は2回とも予約で満席となった。関連事業を含めた取り組みについては、大人のための博物館講座（10月11日）で概括した。取り上げることでできなかった項目もあり、キャプション表記や展示方法など反省点を踏まえ、継続的な取り組みにつなげたい。

平成28年度企画展についても準備を開始した。

④美術工芸分野

ア 収蔵資料にかかわる調査研究

収蔵資料については継続して調査研究を行っている。その成果を披露する場として常設展がある。特に今年度は常設展の中に設けた期間限定の特別展示を例年より多く行った。列举すると「梅が描かれたやきもの」「桜が描かれた絵画」「おばけとほとけ ちがう世界からこんにちは」「時事」「赤羽刀譲与 15年」「特別展「里山いま昔一人と自然 あらたな“絆”を求めて」」関連展示「衆議院」「軍師半兵衛」「没後150年 歌川国貞（三代豊国）」「鵜飼を描いた絵画と陶器」。

当館が誇るコレクションの一つ、歌川国芳筆「木曾街道六十九次」全72枚による展覧会を平成27年度岐阜県博物館移動展として、飛騨高山まちの博物館において開催することになった。解説執筆等のため、調査研究を行っている。

イ 平成28年度特別展「円空の造形—その生涯をたどりながら—」（仮）にかかわる調査研究

標記特別展開催に向けて作品実査、写真観察、文献渉猟などを行い、円空と円空仏について調査研究を進めている。また、特別展への協力を得るため外部機関へ赴いたり、展示や催事運営の手法を参考にするため他館の展覧会を視察したりした。

ウ 岐阜県の宗教彫刻にかかわる調査研究

外部の機関や所蔵者から宗教彫刻に関する依頼・相談等が寄せられることがある。これらを引き受けて行う活動は、岐阜県博物館が外部と連携・協働しながら行う社会活動と位置付けてよい。ただし公共に益することがない、個人の財産査定等は引き受けていない。

平成 26 年度も依頼・相談等に応じる機会があった。とりわけ現地調査に参加の誘いを受けることが多くあり、それらは文化庁や県・市町村教育委員会が関与するものであった。現地調査への参加は県内の文化財について知見を得る絶好の機会であり、当館にとっても有益である。今後も県内の宗教彫刻の状況を把握し、調査研究や文化財保護活動などに資するよう努めたい。

(2) 自然部門

①動物分野

ア 主な研究テーマ

- (ア) 里地里山に生息する動物の生態について
- (イ) 戦前の鳥獣採集家および博物学標本商について
- (ウ) キノコ食甲虫の生態について

イ 書籍・論文など

- (ア) 向井貴彦・説田健一 2015. 長良川で採集されたレッドテールキャットフィッシュとマダラロリカリア. 岐阜県博物館調査研究報告, 36, 19-24.

ウ 館内サークル活動の企画及び運営

- (ア) ダチョウ組 (動物標本作製サークル)、百博会、岐阜の魚研究会、クモ研究会、モニタリングサイト 1000 里地調査グループ、昆虫標本整理グループの運営

エ 他団体との調査活動

- (ア) ウシモツゴを守る会 (ウシモツゴの生息と保護にかかわる調査)
- (イ) 金華山えこねっと (金華山にかかわる市民科学についての調査及び普及活動)

② 植物分野

ア 主な研究テーマ

- (ア) 種子の飛行メカニズムについて
- (イ) 岐阜県博物館と連携した教師教育プログラムの開発

イ 書籍・論文など

- (ア) 船戸 智 2015. 理科の基本概念「地球」の再検討とその育成を図る地域教育資源の開発に関する研究. 科学研究費・研究成果報告書. 50-51
- (イ) 船戸 智 他 2015. 教育委員会と協働で実施する教員研修における博物館の活用ー諸感覚・パ

ターン把握を用いた自然体験を通してー. 日本理科教育学会・全国大会論文集. 142

- (ウ) 船戸 智 他 2015. 博学教連携による地域自然学習推進のための調査研究. 日本理科教育学会・東海支部大会論文集. 33

ウ 館内サークル活動の企画及び運営

- (ア) モニタリングサイト 1000 里地調査

エ 他団体との調査活動

- (ア) 岐阜県植物誌調査会 (県植物誌編纂関係調査)
- (イ) 岐阜県植物研究会 (岐阜県内の植物の調査)
- (ウ) 岐阜県レッドデータブック第二次改訂調査検討委員会 (岐阜県環境生活部自然環境保全課と共同)

③ 地学分野

ア 主な研究テーマ

- (ア) 恐竜類における脳形態の三次元幾何学的解析
- (イ) 手取層群の堆積相解析
- (ウ) 大垣市赤坂周辺の石灰岩調査
- (エ) 高山市奥飛騨温泉郷地域産化石の記載
- (オ) アンモナイトの理論モデルの実体化

イ 原著論文等

Kawabe, S., Ando, T., Endo, H. 2014.

Enigmatic affinity in the brain morphology between pterosaurs and penguins, with comprehensive comparison among water birds. Zoological Journal of the Linnean Society.

ウ 国際学会発表

Kawabe, S., Matsuda, S., Endo, H. 2014.

Ontogenetic changes in the chicken brain. Society of Vertebrate Paleontology, 74th Annual Meeting, Berlin.

Uno, H., Kawabe, S., Kaneko, N., et al.

2014. Description on the middle ear cavity of Desmostylus (Mammalia: Afrotheria) using high-resolution x-ray micro CT scan. Society of Vertebrate Paleontology, 74th Annual Meeting, Berlin.

Matsui, K., Kawabe, S. 2014. The oldest

record of Paleoparadoxia from the Northwest Pacific and its implication on the early evolution of Paleoparadoxiinae. Society of Vertebrate Paleontology, 74th Annual Meeting, Berlin.

エ 国内学会発表

河部壮一郎, 安藤佑介, 河野重範, 中谷大輔. 2015. 北九州市藍島に分布する漸新統芦屋層群山鹿層から産出した ウ科 (カツオドリ目) の前上顎骨. 日本古生物学会第 164 回例会.

小池翔子, 河部壮一郎, 佐藤正明, 岡本 隆.

2015. 3D プリンタを用いたアンモナイト理論

形態の実体化。日本古生物学会第 164 回例会、浦野雪峰、松本涼子、河部壮一郎、田上 響、藤原慎一。2015. クチバシの骨の形態は角質の形態に制約を与えるか。日本古生物学会第 164 回例会。

松井久美子、河部壮一郎。2014. パレオパラドキシア類の北西太平洋への進出時期と初期分散について。日本古生物学会 2014 年年会。

オ 館内サークル活動の企画及び運営

(ア) サポーターの化石クリーニング作業の充実化

カ 他団体との調査活動

(ア) 福井県立恐竜博物館との共同調査

(イ) 東京大学総合研究博物館との共同研究

(ウ) 愛媛大学・岐阜女子大学との共同調査

(エ) 瑞浪市化石博・栃木県博・佐賀県立宇宙科学館との共同研究 など

(3) マイ・ミュージアム部門

マイ・ミュージアム部門では、マイミュージアムギャラリー展示に係る業務とマイ・ミュージアム業務から構成されている。

マイミュージアムギャラリー展示に係る事業は、マイ・ミュージアム棟 2 階の展示室にて「岐阜県に在住、在勤及びゆかりのある個人又は団体(法人等)」が長年にわたって、調査・研究・収集されている貴重なコレクションや創作活動の成果等の作品を、広く展示公開する業務である。

また、マイ・ミュージアム業務は、当館収蔵資料のデータベース構築に係る業務として収蔵品をはじめ有形・無形の文化資源等をデジタル化して保存等を行う業務(デジタルアーカイブ)及び、インターネット公開に係る準備業務、並びに風土記データの有効利用に係る業務とハイビジョンホール活性化事業で構成されている。ハイビジョンホール活性化事業については、昨年度から実施し成果を上げている。

① マイミュージアムギャラリーについて

ア 運営の概要

生涯学習時代、県民が個人的に調査、収集、研究した資料のコレクションや生涯学習の成果や作品には、大変すばらしいものが多数存在する。こうした背景から、県民独自のコレクションや生涯学習の発表の場として、マイミュージアムギャラリーが開設された。ここでは、県民相互が多様な文化情報の発信・授受を行うなどの多目的な活用も図られている。博物館では一定期間、展示を公開する場の提供と側面支援を行うことで各展示前に定める目標の達成を目指している。

展示計画は、出展申し込みのあった展示内容をもとに、マイミュージアムギャラリー展示計画懇話会の意見を参考にして年 7 回の展示会が決定される。なお、出展者の募集や出展調査は常時行っている。

イ マイミュージアムギャラリー展示計画懇話会の開催

・日時 平成 26 年 10 月 30 日(木)10 時～11 時 30 分

・場所 本館会議室

ウ 展示記録「マイ・コレクション」(展示紹介チラシ)の発行

展示紹介チラシ「マイ・コレクション」を各回の展示ごとに発行した。これを展示会場内で観覧者に配布するとともに、出展者が自主的に行う広報活動の資料として活用した。平成 25 年度は 7 年度からの通番で、第 145 号から第 151 号までを発行した。チラシ等の配付における来館効果を母平均推定 95% 確率で統計的に推定した結果、8.9% から 19.5% 内でチラシには来館誘導効果があることが分かり、平成 26 年度も平成 25 年度と同様に「マイ・コレクション」を関係各所に配布し効果を得た。結果は展覧会の平均来館者数は昨年度の中央値(メジアン: Me)を上回る結果となった。

エ 博物館同人としての登録

平成 26 年度までに 214 名の同人登録がなされており、往復ハガキなどを用いて、マイミュージアムギャラリーに関する意見や新規の出展者情報を収集している。

オ 観覧者、出展者への意識調査の実施と分析

観覧者にマイミュージアムギャラリー展示の満足度調査を行った。展示会終了後には、出展者にも満足度調査を行っている。調査結果については、分析と考察を行い、展示等の改善につなげている。

また、図 1 に示すように観覧者の満足度は高く、展示内容とともに効果的な展示を行えたものと考えている。また、マイミュージアムギャラリーの良さを問う項目では「観覧が無料であること」、「いろいろな作品が見られ、出展者との交流により趣味が深められた」に高い満足度を認めることができ、県民相互の文化情報の交流に寄与できたものと考えている。

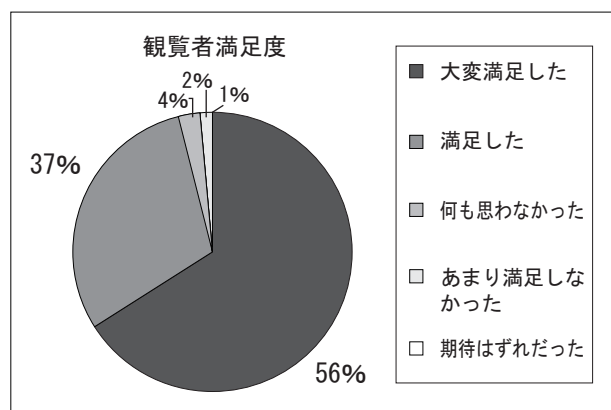


図 1 観覧者の満足度 (n=264: 平成 26 年度 4 月～3 月)

更に、図 2 から出展者の高い満足度を認めることができる。また、マイミュージアムギャラリーの存在価値を問う項目では、その存在価値をいろいろな観点から「価値有り」とした回答が多く高評価を得ることができた。

以上の結果から、マイミュージアムギャラリーの運

営は、当初の目的を充足したものといえる。しかし、いずれも例年と同様の結果を得たにすぎず、更なる改善が必要であることが明らかとなった。

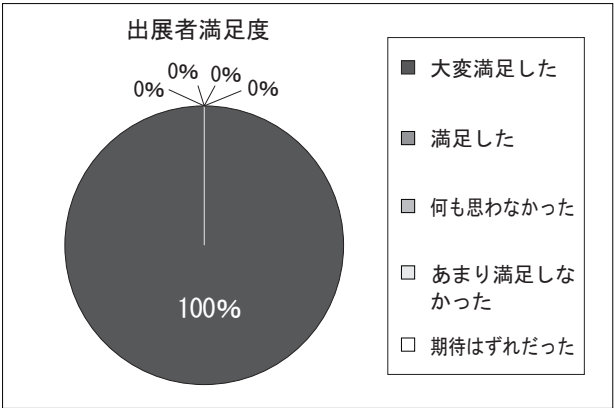


図 2 出展者の満足度 (n=7: 平成 26 年度)

また、平成 24 年度に出展者支援及び観覧者の満足度向上のために、作品のキャプションや説明文の記述方法についての研究を行った。その結果を平成 26 年度も展示会に活かしたところ、読み手の読解方略を体系的で利用しやすいキャプションで示すことができた。こういった研究も含め今後も出展者支援や観覧者の満足度向上に努めたい。

カ 平成 26 年度の出展申し込み

平成 27 年度出展候補としての平成 26 年中に申込は 9 件であった。申込みの内容は、コレクションと作品のバランスもよく、様々な年代の観覧者の興味・関心を喚起されることが期待できるものであった。

また、平成 27 年度から公共施設が行うマイミュージアムギャラリーへの移動博物館展示や高校生以下の部活動等による成果発表の場による U-18 ミュージアムの実施を計画している。

キ 平成 27 年度展示計画及び今後の課題

平成 27 年度出展候補 16 件の中からの 5 件の採用及び 2 件の移動博物館の計 8 出展、並びに U-18 ミュージアムによる展示を 2 件についてマイミュージアムギャラリー展示計画懇話会にて会員から意見を聴き決定した。よって、今年度は 10 件の展示を行うこととなった。また、年間をとおしての展示内容のバランスを考えて、作品とコレクションの選択数や生涯学習の成果発表の場を提供するために、更なる充実を行うことが今後の課題である。

〇マイミュージアムギャラリー展示計画懇話会の構成

氏 名	所 属
岩田 仲雄	社会福祉法人万灯会 理事長
小栗 卓郎	岐阜県公民館連合代表 (会長)
後藤 真澄	中部学院大学介護リハビリテーション学部教授

櫻井 昭子	岐阜県退職女性校長会代表 (書記)
直井 信一	岐阜県社会教育委員連絡協議会代表 (副会長)
早矢仕未央	関市教育委員会生涯学習課係長
武藤 茂子	岐阜県地域女性団体協議会代表 (顧問)
吉田 豊	岐阜県芸術文化会議会長
若宮 多門	岐阜県博物館協会会長

(五十音順 敬称略)

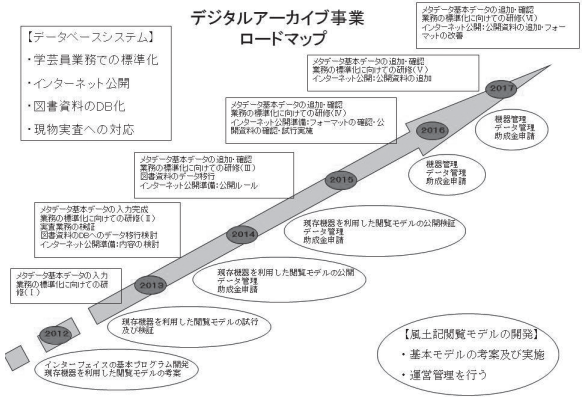
② マイ・ミュージアムについて

マイ・ミュージアム棟が開設された平成 7 年頃はマルチメディアが珍しい時代であったが、現在は一般のパソコン上で動画を編集することさえ特別ではなくなり、マルチメディアの普及や啓発を継続する意義は薄れてきた。他方、昨今の財政難により、機器の更新はもちろん、老朽化した既設機器の維持管理が困難な状況となり、稼働している機器を休止せざるを得なくなった。

しかし、博物館事業において情報通信機器を活用する必要性が失われた訳ではなく、引き続き、情報化が不可欠な分野における機能低下を最小限に食い止め、制約がある中で情報を最大限発信できるよう、システム等の改善や整備に重点を置いた事業を推進する。

ア 収蔵資料データベースの運用

当館では、平成 21 年度末、全国の博物館や美術館でサーバを共有するサービス (SaaS) に当館に収蔵されているデータを移行する作業を実施した。そして平成 23 年度にサービス提供者と利用契約を結集し、インターネット公開を視野に入れた収蔵資料データベースの本格的な運用を開始した。また、収蔵資料データベースと風土記については、デジタルアーカイブ事業としてロードマップを作成し目標を明確にした。その中の、図書資料のデータベース化については、目標を前倒しにし、平成 24 年度にデータの移行を完了した。図書担当職員の業務効率の向上のための支援を行っている。また、インターネットの公開については平成 29 年度を目処に風土記閲覧システムについては平成 27 年度を目処に業務を進めている。



デジタルアーカイブロードマップ

「ハイビジョンシアター」(幼児向け)

- 平成 26 年 -

10 月：①ももたろう

②いっすんぼうし

③うしわかまる

④3 匹の子ぶた

⑤長ぐつをはいた猫

⑥はだかの王様

11 月：①うらしまたろう

②わらしべ長者

③おむすびころりん

④ピノキオ

⑤みにくいアヒルの子

⑥狼と 7 匹の子やぎ

12 月：①さるかにがっせん

②かさじぞう

③ぶんぶくちやがま

④白雪姫

⑤マッチ売りの少女

⑥ヘンゼルとグレーテル

- 平成 27 年 -

1 月：①かぐやひめ

②はなさかじいさん

③つるのおんがえし

④シンデレラ

⑤フランダースの犬

⑥アラジンと魔法のランプ

2 月：①一休さん

②かちかちやま

③かもとりごんべえ

④ピーターパン

⑤トムソーヤの冒険

⑥ジャックと豆の木

(全て アストロシステムジャパン(株))

3 月は、土・日曜日開催の青少年向けを上映した。

3) のハイビジョンホール団体利用促進広報事業は、学校教育研究会等の団体や公的機関、さらに県内外で優秀な活動実績を持つ文化系団体に積極的な広報を行い、ハイビジョンホールを含む館内施設の利用促進に努めた。結果、昨年度は 20 団体 1,188 名に利用いただくとともに、新規 5 団体の予約を受けている。

4) のマイミュージアムギャラリー新規事業計画は、「U-18 ミュージアム」と「移動展」の 2 事業を新規企画し今年度から開催する運びとなっている。

「U-18 ミュージアム」は、高校生の文化芸術を中心とした成果発表及び交流の場を設けることで、生徒が自らの制作活動に対する自信を持ち、更なる文化芸術創造の意欲を高めていく機会とするとともに、県民に高校生の文化芸術活動の成果を紹介する機会とすることを目的として企画した。

また「移動展」は、県内の博物館及び関連施設が持つ貴重なコレクションを「移動展」としてマイミュージ

アムギャラリーで展示する形態とし、県民が優れた文化に触れていただく機会を増加させるとともに、各博物館や各施設の魅力を伝える機会にすることを目的に企画した。

7 資料収集活動

(1) 収蔵資料数

① 人文分野

(平成 27 年 3 月 31 日現在)

分 野	資 料 数 (件)
考 古	461
歴 史	1,381
民 俗	1,655
美 術 工 芸	1,267
合 計	4,764

② 自然分野

(平成 27 年 3 月 31 日現在)

分 野	資 料 数 (件)
動 物	30,174
植 物	90,709
岩 石 鉱 物	2,036
化 石	1,584
合 計	124,503
総 合 計	129,267

(2) 平成 26 年度寄贈資料一覧

① 人文分野

(平成 27 年 3 月 31 日現在)

資 料 名	件数
成木一成氏関連資料	5
名和裁縫女学校資料一式	1

② 自然分野

(平成 26 年 3 月 31 日現在)

資 料 名	件数	資 料 名	件数
珪線石片麻岩	1	ミドリシャミセンガイ	1
カキの化石	1	シベリアオオカミ	1
菱マンガン鉱	1	シベリアイタチ	1

(3) 平成 26 年度購入資料一覧

① 人文分野

(平成 27 年 3 月 31 日現在)

資 料 名	件数
な し	0

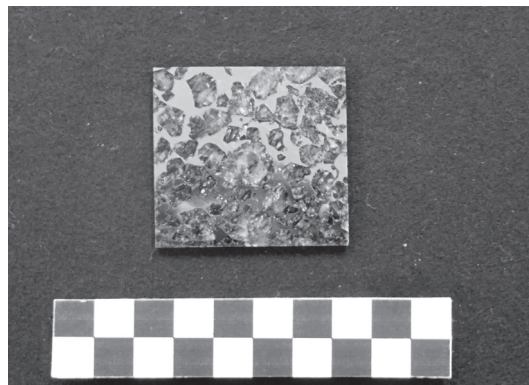
② 自然分野

(平成 27 年 3 月 31 日現在)

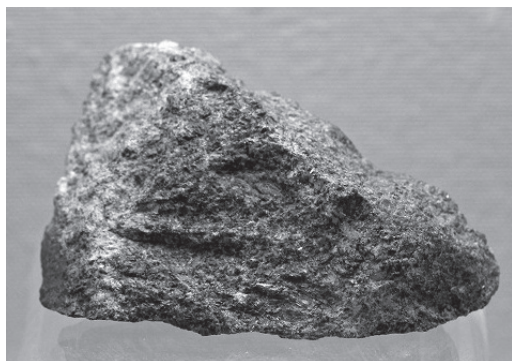
資 料 名	件数
隕石資料	1
古環境復元画	1
鉱物資料	1



菱マンガン鉱



石鉄隕石



珪線石片麻岩



シベリアオオカミ

8 教育普及活動

(1) 教育普及活動

① 催しもの開催状況

催し物は、おもに子どもとその家族を対象とした「けんぱく教室」と、主に大人を対象とした「講座・講演会」を、自然、人文、教育普及、マイミュージアムの各係が担当して計96回を実施した（うち中止

5回、中止は台風接近等による）。企画展に関連しては、特別展記念講演会「明治のオカルトブームについて」をはじめ、「県博に口裂け女現る！」、「荒ぶる獣たちー21世紀の獣とひとのかかわりー」、「展示解説 岩田西遺跡（岐阜市）を読み解く」などを実施し、企画展の内容の理解を深め、発展する機会を提供した。

<催しもの開催状況一覧>

事業名	期 日	定 員	参 加	内 容
体 験 教 室	4/26	なし	44 名	体験農園で種まきー古民家で里山体験ー
	4/29	なし	9 名	家族で里山オリエンテーリング
	5/ 3	40 名	90 名	竹でおもちゃをつくろう
	5/ 5	40 名	8 名	木でこいのぼり・五月人形をつくろう
	5/ 6	30 名	39 名	まが玉をつくろう
	5/10	なし	26 名	ジオロちつく・パーク
	5/17	なし	125 名	窯煎り茶をつくろうー古民家で里山体験ー
	5/17	なし	30 名	ジオロちつく・パーク
	5/24	なし	20 名	ジオロちつく・パーク
	5/24	20 名	18 名	魚の捕り方教えますー～ビオトープの魚調べ～
	5/31	20 名	17 名	むかしたんけんたい
	5/31	なし	28 名	ジオロちつく・パーク
	6/ 7	なし	14 名	ジオロちつく・パーク
	6/ 7	50 名	19 名	まゆ人形をつくろう
	6/14	なし	27 名	ジオロちつく・パーク
	6/14	100 名	71 名	菖蒲まつり けんぱくワークショップ
	6/15	100 名	106 名	菖蒲まつり けんぱくワークショップ
	6/18	なし	22 名	ジオロちつく・パーク
	6/28	なし	20 名	ジオロちつく・パーク
	7/ 5	20 名	7 名	葉脈標本づくり
	7/12	なし	299 名	県博に口裂け女現る！
	7/19	20 名	21 名	家族で昆虫標本をつくろう
	7/26	40 名	40 名	ナイトウォッチング No. 1
	7/27	30 名	21 名	火おこし器をつくろう
	8/ 1	40 名	34 名	ナイトウォッチング No. 2
	8/ 3	20 名	26 名	むかしのおもちゃをつくろう（紙つばめ）
	8/ 9	30 名	8/17に延期	まが玉をつくろう
	8/17	30 名	22 名	まが玉をつくろう
	8/23	20 名	29 名	織りものの体験をしよう
	8/30	30 名	28 名	まが玉をつくろう
	9/ 6	20 名	19 名	どうぶつたんけんたい
	9/20	なし	17 名	ジオロちつく・パーク
	9/20	20 名	中止	案内人と歩く里山ウォーキング
	9/27	なし	143 名	体験農園の収穫祭ー古民家で里山体験ー
	9/27	20 名	11 名	案内人と歩く里山ウォーキング
	9/27	なし	4 名	ジオロちつく・パーク
	10/ 4	20 名	中止	案内人と歩く里山ウォーキング
	10/ 4	なし	12 名	ジオロちつく・パーク
	10/11	20 名	中止	案内人と歩く里山ウォーキング
	10/11	なし	18 名	ジオロちつく・パーク
	10/18	なし	18 名	ジオロちつく・パーク
	10/18	100 名	107 名	オータムフェスティバル けんぱくワークショップ
	10/19	100 名	195 名	オータムフェスティバル けんぱくワークショップ
	10/25	20 名	8 名	案内人と歩く里山ウォーキング
	10/25	なし	13 名	ジオロちつく・パーク
	11/ 1	20 名	7 名	草木染にちょうせん！
	11/ 3	なし	99 名	秋まつり けんぱくワークショップ
	11/ 8	20 名	1 名	案内人と歩く里山ウォーキング
	11/15	100 名	94 名	徳山のくらしを体験しよう
	11/16	20 名	17 名	案内人と歩く里山ウォーキング
	11/22	30 名	18 名	たねであそぼう
	12/20	20 名	6 名	家族でつくるクリスマスかざり

事業名	期 日	定 員	参 加	内 容
体験教室	12/23	なし	32 名	切り折り紙のアート作品づくり ー干支・正月飾り・恐竜などー
	12/27	なし	52 名	餅つきと花もちづくり ー古民家で里山体験ー
	1/ 7	200 名	200 名	七草がゆを食べよう
	2/28	40 名	22 名	木でひな人形をつくろう
	3/ 7	なし	37 名	椎茸づくり 菌打ち体験 ー古民家で里山体験ー
	3/21	20 名	24 名	むかしたんけんたい
	3/28	20 名	18 名	どうぶつたんけんたい
講座 講演会	4/16	なし	23 名	里山ウォッチング
	5/ 3	20 名	16 名	講座「岐阜の円空仏」
	5/11	30 名	22 名	古文書講座「戦国大名の文書を読み解こう」
	5/21	なし	7 名	里山ウォッチング
	6/18	なし	21 名	里山ウォッチング
	7/16	なし	22 名	里山ウォッチング
	7/26	120 名	101 名	脳形態から迫る古生物の姿
	8/10	30 名	中止	古文書講座「戦国大名の文書を読み解こう」
	8/16	120 名	135 名	山口敏太郎の妖怪トーク
	8/20	なし	中止	里山ウォッチング
	8/24	120 名	108 名	特別展記念講演会「明治のオカルトブームについて」
	9/ 7	30 名	17 名	古文書講座「戦国大名の文書を読み解こう」
	9/17	なし	29 名	里山ウォッチング
	9/21	20 名	20 名	講座「山の神仏と願興寺（御嵩町）の仏像」
	10/ 5	50 名	39 名	荒ぶる獣たち ー21 世紀の獣とひとのかかわりー
	10/11	120 名	58 名	博物館 × オカルト × 岐阜
	10/12	20 名	20 名	関ヶ原合戦の地を訪ねて
	10/15	なし	21 名	里山ウォッチング
	10/19	20 名	36 名	願興寺（御嵩町）拝観会
	10/25	10 名	7 名	岐阜にちなんだ謡曲「養老」を謡ってみよう
	11/ 1	120 名	88 名	宇宙への誘い
	11/ 3	50 名	24 名	モニタリングサイト 1000 里地調査とはなにか
	11/19	なし	18 名	里山ウォッチング
	11/30	30 名	23 名	古文書講座「戦国大名の文書を読み解こう」
	12/ 6	120 名	59 名	石器から読みとく岐阜県のあけぼの
	12/17	なし	6 名	里山ウォッチング
	1/ 6	20 名	11 名	春の七草ウォッチング
	1/21	なし	13 名	里山ウォッチング
	1/24	なし	40 名	展示解説 岩田西遺跡（岐阜市）を読み解く
	2/ 7	20 名	8 名	収蔵庫探検 明治から昭和初期の剥製のはなし
	2/18	なし	11 名	里山ウォッチング
	2/21	30 名	24 名	里山の自然を撮ろう (1)
	2/22	120 名	67 名	講演会「福澤諭吉のユーモア精神」
	2/28	30 名	18 名	里山の自然を撮ろう (2)
	3/ 8	30 名	17 名	里山の自然を撮ろう (3)
	3/14	なし	34 名	モニタリングサイト 1000 里地調査報告会
	3/18	なし	18 名	里山ウォッチング
		合 計	3,633 名	

② わくわく体験コーナー

わくわく体験コーナーは、毎週日曜日午後に開催している（1 回台風のため中止）。今年度は、67 回開催し、2,790 人の参加者があった。体験メニューは、化石クリーニング体験、化石レプリカづくり、万華鏡づくり、どんぐり標本づくりが定番メニューで、夏以降、不定期に水晶ジオード割り体験を実施した。定番メニューについては、それを目当てとしたリピーターの期待に応える必要がある一方で、固定化による「あき」対策が今後の課題となるといえよう。

＜わくわく体験コーナー＞

実施回数	参加人数	実施メニュー
67	2,790	化石クリーニング体験、化石レプリカづくり、万華鏡づくりどんぐり標本箱づくり、水晶ジオード割り

③ 展示解説

常設展展示解説は、毎日午前 11 時と午後 2 時に解説員により行った。延べ 503 回、3,388 人の参加があった。テーマは、「恐竜のお話」「合掌造りの解説」「輪中の解説」「大昔の人々のくらしの解説」「岐阜の大地の成り立ちの解説」があり、毎日日替わりで実施した。また、企画展等展示解説は企画展開催中に随時担当学芸員が行った。延べ 30 回、280 人の参加があった。企画展等の展示について掘り下げながら、わかりやすく解説した。

＜展示解説＞

	実施回数	参加人数	内 容
常設展	503	3,388	解説員による常設展展示解説
企画展	30	280	担当学芸員による企画展展示解説

④ 移動博物館・出張けんぱく教室

26年度より移動博物館・出張けんぱく教室の取り組みを大幅に拡充した。移動博物館・出張けんぱく教室を拡充した目的は、1つは遠隔地の県民に県博物館の財産（展示・教育普及事業）を享受する機会を提供すること、2つ目に来館者を待つことから、資料や体験教室を持って外へ打って出ることへの転換をはかり、博物館への関心を今一度呼び戻す方途とすること、3つ目に子どもや若者が多く集う岐阜市の中心部の施設においても開催することで、主として青少年等の若い世代に当館に対する関心を高めもらう機会とすることである。なお、「移動博物館」とは、事業の実施主体は他館であるが、展示資料のうち当館の資料が占める割合が半分以上で、当館の共催や協力で開催した展覧会と、教育普及的な展示に体験教室を組み合わせたもので、自治体や団体が実施するイベントで、当館が共催・協力により実施するもののことをいう。また、「出張けんぱく教室」とは、自治体や団体が実施するイベントで、当館が共催・協力により実施するものである。

(1) 移動博物館

※他館が企画・運営主体の展覧会 → ◎、教育普及的色彩の濃い展示（＋体験教室）→ ☆

	実施時期	内容	内 容	開催地	種別	参加人数（人）
1	H26/7/11～9/7 (51 日間) ◎	展示	特別展「私たちの身近な鉱物展」 ◎	日本最古の石博物館	共催	3,521
2	H26/6/28～8/14 (41 日間) ◎	展示	企画展「里山の植物」 ◎	中山道みたけ館	協力	1,609
3	H26/8/3 ※第 16 回サイエンス フェスティバル in 境川 ☆	展示	移動展示「北海道のアンモナイト」	柳津公民館	共催	312
		体験	化石レプリカづくり			
4	H26/9/14, 15（2 日間） ※第 3 回柳ヶ瀬 ジュラシックアーケード ☆	展示	移動展示「ミニ恐竜展」	柳ヶ瀬あい愛ステーション	共催	9,882
		体験	動物の骨格標本に触ってみよう			
5	H26/11/23 ※SEK I いきいき フェスタ 2014 ☆	展示	移動展示「関市のあけぼの～考古資料による～」	関市わかくさプラザ	協力	450
		体験	化石クリーニング体験			
計						15,774

(2) 出張けんぱく教室

	実施時期	内容	内 容	開催地	種別	参加人数（人）
1	H26/8/10 第16回荘川化石フォーラム	体験	化石クリーニング体験	高山市荘川支所	協力	103
2	H26/10/5 ※山県市ふるさと栗祭り	体験	化石クリーニング体験	四国山香りの森公園	協力	201
3	H26/11/22 ※ぎふサイエンス フェスティバル2014	体験	化石レプリカづくり	岐阜市文化センター	協力	670
計						974

⑤ 団体利用

団体利用は、173 団体、10,270 人で、下表のとおりである。美濃地区、岐阜地区、西濃地区、愛知県西部（一宮市、稲沢市、江南市）の小学校や幼稚園・保育園の利用が多い。

学習活動では、生活科との関連を重視し、百年公園の自然を活用した「秋みつけ」や「秋のおもちゃづくり」などの体験活動を多く実施した。

展示では、人文展示室 1 の「郷土の百年」コーナーを活用し、小学生の社会科の学習「古い道具と昔の暮らし」に対応した解説を行った。屋外展示の旧徳山村民家では、囲炉裏を使った体験活動や洗濯板を使った洗濯体験等により昔の暮らしと実感を持って理解できるプログラムの実施に努めた。

なお、「秋みつけ」「秋のおもちゃづくり」「昔の暮らし体験」などの体験活動においては、活動の準備や片付け、子どもへの指導や声かけなどについて博物館サポーターの協力を得た。

<平成 26 年度 団体利用一覧>

月	日	曜	所在地	学 校 団 体	対象	人数	活動内容
4	12	土	関市	岐阜県警察学校	初任科生	136	展示解説
4	12	土	山梨県（笛吹市）	帝京大学文化財研究所	一般	20	展示解説
4	24	木	関市	岐阜県博物館協会	一般	30	施設利用・自由観覧
4	30	水	海津市	海津特別支援学校	中学部	37	展示解説・展示セルフガイド
4	30	水	美濃市	美濃ふたば幼稚園	年長	32	展示解説・展示セルフガイド
5	8	木	愛知県（一宮市）	一宮市立朝日東小学校	小3年	66	展示解説・展示セルフガイド
5	9	金	岐阜市	岐阜市立芥見東小学校	小6年	97	学芸員による遺跡の話・展示セルフガイド
5	9	金	愛知県（北名古屋市）	北名古屋市立五条小学校	小2年	85	展示解説・展示セルフガイド
5	11	日	八百津町	八百津町和知子ども会	幼児～小5	23	まが玉作り体験・自由観覧
5	14	水	関市	岐阜県博物館友の会	一般	30	施設利用・自由観覧
5	15	木	岐阜市	岐阜県総合教育センター・博物館活用講座	教員	30	自然分野の研修
5	15	木	愛知県（稲沢市）	稲沢市立下津小学校	小3年	111	展示セルフガイド
5	16	金	関市	関市立桜ヶ丘小学校	小1年	80	展示解説・展示セルフガイド
5	18	日	岐阜市	岐阜保健短期大学	大学生	146	展示解説・自由観覧
5	20	火	愛知県（北名古屋市）	北名古屋市立師勝西小学校	小3年	103	展示セルフガイド
5	21	水	関市	関市立桜ヶ丘小学校	小2年	73	展示解説・展示セルフガイド
5	22	木	愛知県（小牧市）	小牧市立本庄小学校	小5年	141	自然展示を自由観覧
5	22	木	関市	関市立金竜小学校	小3年	108	里山オリエンテーリング
5	23	金	岐阜市	関市立金竜小学校	小3年	126	自然散策
5	23	金	岐阜市	岐阜県教育委員会 研修会	教員	11	施設利用
5	24	土	七宗町	七宗町教育委員会	小1～6年	13	展示解説・化石クリーニング体験
5	25	日	愛知県（新城市）	鳳来寺山自然科学博物館	一般	30	展示解説・化石クリーニング体験・化石レプリカ体験
5	25	日	八百津町	八百津町子ども会	小1～6年	91	館内見学・まが玉作り体験
5	27	火	岐阜市	岐阜県小中学校教育研究会 小学校社会科部会	教員	55	施設利用
5	28	水	関市	岐阜県博物館協会	一般	129	施設利用
5	28	水	関市	関市立金竜小学校	小1年	150	生活科学学習
5	29	木	本巣市	本巣市立根尾小学校	小1～6年	32	展示解説・展示セルフガイド
5	30	金	愛知県（北名古屋市）	北名古屋市立西春小学校	小3年	115	展示解説・展示セルフガイド
6	4	水	関市	関市立富岡小学校	小2年	82	生活科学学習
6	6	金	岐阜市	高校地理・歴史公民部会	教員	100	施設利用
6	10	火	岐阜市	造園緑化協会	一般	80	施設利用
6	13	金	愛知県（名古屋市）	名古屋教育文化センター	幼児	37	展示解説・展示セルフガイド・映像鑑賞
6	18	水	愛知県（岩倉市）	東町ゆうわ会	一般	34	自由観覧
6	19	木	関市	関市立旭ヶ丘小学校	小4年	59	展示解説・展示セルフガイド
6	19	木	関市	老人ホーム 寿和苑	一般	15	自由観覧
6	22	日	岐阜市	ボーイスカウト岐阜 8 団	年長～小2	32	化石レプリカ体験・自由観覧
6	22	日	岐阜市	ボーイスカウト岐阜 17 団	小4年	20	展示解説・自由観覧
6	24	木	岐阜市	岐阜県小・中学校英語研究会	教員	80	施設利用
6	25	水	愛知県（長久手市）	長久手市立南中学校	中2年	218	展示セルフガイド・自然観覧
6	27	金	岐阜市	岐阜県中学校社会科研究会	教員	60	施設利用
7	8	火	岐阜市	かぐや第三幼稚園	年長	33	展示解説・展示セルフガイド
7	15	火	瑞穂市	瑞穂市教育委員会	一般	5	化石レプリカ作り・自由観覧
7	17	木	愛知県（一宮市）	平安幼稚園	年長	95	展示見学・自由観覧
7	19	土	関市	中部学院大学	大学生	140	展示解説
7	29	火	関市	団体利用研修会	教員	31	博物館利用の研修
7	30	水	関市	団体利用研修会	教員	22	博物館利用の研修
7	31	木	関市	団体利用研修会	教員	38	博物館利用の研修
8	1	金	関市	団体利用研修会	教員	18	博物館利用の研修
8	2	土	関市	団体利用研修会	教員	7	博物館利用の研修
8	2	土	関市	中部学院大学	大学生	38	展示解説
8	5	火	岐阜市	岐阜県総合教育センター・博物館活用講座	教員	30	自然分野の研修
8	5	火	岐阜市	かぐや第一幼稚園	年長	17	展示解説・自由観覧
8	7	木	関市	岐阜県高校教育中濃地区理科実習助手部会	教員	17	自然分野の研修
8	8	金	郡上市	まどか幼稚園	年長	17	展示解説

月	日	曜	所在地	学 校 団 体	対象	人数	活動内容
8	19	火	山県市	山県市小学校生活科研究部会	教員	9	展示解説・自由観覧
8	26	火	愛知県	愛知科学研究会	教員	10	自然分野の研修
9	17	水	各務原市	各務原市立蘇原第一小学校	小4年	178	展示解説・展示セルフガイド
9	30	火	関市	関市立南ヶ丘小学校	小1・2年	38	展示解説・展示セルフガイド
10	1	水	岐阜市	岐阜市立日野小学校	小1年	69	展示解説・展示セルフガイド
10	1	水	各務原市	各務原市教育委員会	小3～中2年	14	化石解説・化石レプリカ作り
10	2	木	瑞穂市	瑞穂市立西小学校	小1年	51	展示セルフガイド・自然散策オリエンテーリング
10	3	金	関市	関市立寺尾小学校	小1～4年	23	展示解説・洗濯体験・生活科学学習
10	3	金	愛知県（稲沢市）	稲沢市立稲沢東小学校	小3年	139	展示解説・展示セルフガイド
10	3	金	大垣市	大垣市立中川幼稚園	年中・年長	31	展示解説
10	3	金	揖斐川町	揖斐川町立春日小学校	小3・4年	12	展示セルフガイド・化石レプリカ作り・化石解説
10	7	火	関市	関市立富岡小学校	小1年	74	展示解説・展示セルフガイド・生活科学学習
10	7	火	大野町	大野町立北小学校	小5年	38	展示解説・展示セルフガイド
10	7	火	愛知県（稲沢市）	稲沢市立稲沢北小学校	小3年	44	展示解説・展示セルフガイド
10	8	水	関市	関市立小金田中学校	中2年	4	職業体験
10	8	水	関市	関市立武儀西小学校	小1～3年	25	展示セルフガイド・社会科学学習・生活科学学習
10	8	水	八百津町	八百津町立和知小学校	小1・2年	64	展示セルフガイド・生活科学学習
10	8	水	岐阜市	岐阜市立長良東小学校	小1年	118	展示セルフガイド・生活科学学習
10	8	水	大垣市	大垣市立墨俣小学校	小1年	48	展示解説・展示セルフガイド・生活科学学習
10	9	木	関市	関市立小金田中学校	中2年	4	職業体験
10	9	木	関市	関市立洞戸小学校	小1・2年	20	展示セルフガイド・生活科学学習
10	9	木	岐阜市	岐阜市立合渡小学校	中2年	49	展示解説・展示セルフガイド・生活科学学習
10	10	金	関市	関市立小金田中学校	中2年	4	職業体験
10	10	金	関市	関市立田原小学校	小2年	59	生活科学学習
10	10	金	岐阜市	岐阜市立早田小学校	小1年	62	展示セルフガイド・生活科学学習
10	10	金	岐阜市	岐阜市立則武小学校	小1年	82	展示解説・展示セルフガイド・生活科学学習
10	10	金	土岐市	土岐市立泉小学校	小4年	137	展示セルフガイド
10	13	月	岐阜県警察学校	岐阜県警察学校	初任科生	20	展示解説
10	15	水	関市	関市立武芸小学校	小1・2年	39	展示解説・展示セルフガイド・生活科学学習
10	15	水	関市	関市立武儀東小学校	小1～3年	37	展示解説・展示セルフガイド・生活科学学習
10	15	水	関市	郡上市立高鷲北小学校	小5年	10	展示セルフガイド
10	15	水	岐阜市	岐阜市立芥見小学校	小1年	62	展示セルフガイド・生活科学学習
10	16	木	関市	関市立博愛小学校	小1・2年	36	展示解説・展示セルフガイド・生活科学学習
10	16	木	愛知県（江南市）	江南市立草井小学校	小2年	80	展示解説・展示セルフガイド・生活科学学習
10	16	木	中津川市	中津川市立付知北小学校	小3・4年	47	展示解説・展示セルフガイド
10	16	木	海津市	海津市立海西小学校	小4年	22	展示セルフガイド
10	16	木	愛知県（江南市）	江南市立古知野北小学校	小2年	91	展示解説・展示セルフガイド
10	17	金	岐阜市	岐阜市立長森東小学校	小1年	72	展示セルフガイド・生活科学学習
10	17	金	愛知県（一宮市）	一宮市立今伊勢小学校	小2年	145	展示セルフガイド・生活科学学習
10	17	金	愛知県（稲沢市）	稲沢市立領内小学校	小3年	48	展示セルフガイド・社会科学学習
10	17	金	関市	関市立旭ヶ丘小学校	小1年	54	生活科学学習
10	17	金	海津市	海津市立東江小学校	小1・2年	27	生活科学学習
10	21	火	山県市	山県市立富岡小学校	小2年	69	展示解説・展示セルフガイド・生活科学学習
10	21	火	岐阜市	岐阜県総合教育センター・博物館活用講座	教員	30	自然分野の研修
10	22	水	関市	関市立倉知小学校	小2年	76	生活科学学習
10	22	水	愛知県（稲沢市）	稲沢市立清水小学校	小1・2年	84	展示解説・展示セルフガイド
10	22	水	愛知県（小牧市）	小牧市立小牧小学校	小3年	111	展示セルフガイド
10	22	水	山県市	はなぞの北幼稚園	年長	29	展示解説・自由観覧
10	23	木	岐阜市	岐阜市立藍川中学校	中2年	3	職業体験
10	23	木	関市	関市立下有知小学校	小1年	55	生活科学学習
10	23	木	岐阜市	中部学院附属幼稚園	年長	66	展示セルフガイド
10	23	木	愛知県（岩倉市）	岩倉市立曾野小学校	小2年	107	展示解説・展示セルフガイド
10	23	木	岐南町	岐南町立東小学校	小1年	103	展示解説・展示セルフガイド
10	23	木	岐阜市	岐阜市立藍川中学校	中2年	3	職業体験
10	24	金	関市	関市立富野小学校	小1・2年	22	展示セルフガイド・生活科学学習
10	24	金	関市	関市立上之保小学校	小1・2年	15	展示解説・展示セルフガイド・生活科学学習
10	24	金	岐阜市	岐阜市立藍川中学校	中2年	3	職業体験
10	28	火	関市	関市立下有知小学校	小2年	69	展示解説・展示セルフガイド・生活科学学習・映像鑑賞
10	28	火	岐阜市	岐阜市立明郷小学校	小1年	76	生活科学学習
10	29	水	関市	関市立瀬尻小学校	小1年	67	生活科学学習
10	29	水	愛知県（あま市）	あま市立七宝中学校	中2年	186	展示セルフガイド
10	29	水	可児市	可児市立旭小学校	小2年	90	展示解説・展示セルフガイド・生活科学学習
10	30	木	関市	関市立田原小学校	小1年	52	生活科学学習
10	30	木	岐阜市	岐阜県教育委員会 生徒指導研修会	教員	130	講演会・自由観覧
10	31	金	関市	関市立旭ヶ丘小学校	小2年	58	展示セルフガイド・生活科学学習
10	31	金	岐南町	岐南町立西小学校	小1年	72	生活科学学習
10	31	金	愛知県（清洲市）	清洲市立桃栄小学校	小3年	37	展示セルフガイド
10	31	金	岐阜市	常盤保育園	年中	38	展示解説・自由観覧
11	5	水	関市	関市立板取小学校	小1・2年	11	展示セルフガイド・生活科学学習

月	日	曜	所在地	学 校 団 体	対象	人数	活動内容
11	5	水	七宗町	七宗町立上麻生小学校	小1・2年	23	生活科学習
11	5	水	岐阜市	岐阜市立西郷小学校	小1年	82	展示解説・展示セルフガイド・生活科学習
11	5	水	美濃市	美濃市立大矢田小学校	小1・2年	35	展示解説・展示セルフガイド
11	5	水	郡上市	郡上市立川合小学校	小5年	21	展示解説・展示セルフガイド
11	5	水	関市	関市立桜ヶ丘中学校	中2年	4	職業体験
11	6	木	関市	関市立金竜小学校	小1年	142	展示セルフガイド
11	6	木	笠松町	笠松町立下羽栗小学校	小1年	61	展示解説・展示セルフガイド・生活科学習
11	6	木	関市	中部学院短期大学附属・桐ヶ丘幼稚園	年長	67	自然散策
11	6	木	関市	関市立桜ヶ丘中学校	中2年	4	職業体験
11	7	金	関市	関市立倉知小学校	小1年	88	生活科学習
11	7	金	富加町	富加町立富加小学校	小1年	50	展示解説・展示セルフガイド・生活科学習
11	7	金	関市	関保育園	年長	33	展示セルフガイド
11	7	金	関市	関市立桜ヶ丘中学校	中2年	4	職業体験
11	11	火	各務原市	各務原市立中央小学校	小1年	92	展示セルフガイド・生活科学習
11	11	火	笠松市	笠松保育園	年長	26	展示解説・自由観覧
11	12	水	岐阜市	岐阜市立鷺山小学校	小1年	90	展示解説・展示セルフガイド・生活科学習
11	12	水	関市	関市立西部保育園	年中	45	展示解説・展示セルフガイド
11	13	木	関市	関市立安桜小学校	小2年	90	展示解説・展示セルフガイド・生活科学習
11	13	木	岐阜市	常盤保育園	年中	20	展示解説・自由観覧
11	14	金	本巣市	本巣市立席田小学校	小3年	60	展示セルフガイド
11	14	金	大野町	大野町立大野小学校	小5年	72	展示解説・展示セルフガイド
11	18	火	関市	中部学院短期大学附属・桐ヶ丘幼稚園	年中	77	自然散策
11	19	水	愛知県(江南市)	江南市立古知野南小学校	小3年	148	展示セルフガイド
11	20	木	関市	中部学院短期大学附属・桐ヶ丘幼稚園	年少	81	自然散策
11	21	金	岐阜市	岐阜市立岐阜小学校	小4年	78	展示解説
11	21	金	各務原市	各務原市立鶴沼第一小学校	小1年	98	生活科学習
11	27	木	笠松町	笠松町立松枝小学校	小2年	98	生活科学習
11	27	木	富加町	富加町立富加小学校	小5年	44	自由観覧・映像鑑賞
11	28	金	羽島市	羽島市立中央小学校	小3年	124	展示セルフガイド
11	28	金	愛知県(大府市)	森岡公民館	一般	20	展示解説
11	29	土	関市	百年公園事務所	一般	70	会議・施設利用
12	13	土	岐阜市	岐阜県小・中学校英語研究会	教員	80	施設利用
12	25	木	愛知県(瀬戸市)	瀬戸市理科研究会地質班	教員	10	自然分野の研修
1	14	水	大垣市	大垣市立興文小学校	小3年	110	展示解説・展示セルフガイド・体験活動
1	15	木	岐阜市	岐阜市立七郷小学校	小4年	128	展示セルフガイド
1	30	金	関市	関市立富野小学校	小3年	16	展示解説・展示セルフガイド・体験活動
2	3	火	関市	関市立下有知小学校	小3年	76	展示解説・展示セルフガイド・体験活動
2	5	木	岐阜市	岐阜市立長良中学校	中2年	1	職業体験
2	12	木	郡上市	郡上市立和良小学校	小4年	13	展示解説・展示セルフガイド
2	13	金	関市	桐ヶ丘幼稚園	年長	67	自由観覧
2	18	水	関市	関市立金竜小学校	3年	108	展示解説・展示セルフガイド・体験活動
2	20	金	関市	虹が丘幼稚園	年長	99	展示解説・映画鑑賞・展示セルフガイド
2	24	火	岐阜市	岐阜県小学校社会科研究会	教員	55	施設利用
2	27	金	美濃加茂市	太田第二幼稚園	年長	63	展示解説・展示セルフガイド
3	3	火	美濃加茂市	中濃地区高等学校生物担当者会議	教員	13	展示解説・施設利用
3	3	火	愛知県(名古屋市)	名城大学	大2, 3年	63	自由観覧
3	5	木	美濃加茂市	古井第2保育園	年中・年長	47	展示解説・展示セルフガイド
3	7	土	可児市	可児市教育委員会	一般	20	展示解説・体験活動
3	13	金	美濃加茂市	北部保育園	年長	40	展示解説・展示セルフガイド
3	27	金	美濃加茂市	美濃加茂市役所生涯学習課	小1, 2年	40	展示解説・展示セルフガイド・体験活動

	団体数	人数
学校団体(幼保含む)	131	8,554
学校以外の団体(社会教育施設含む)	42	1,725
合計	173	10,279

⑥ 出前授業・講師派遣

出前授業の実施回数は18回（そのうち小中学校13回）であった。また、講師に招聘されたのは17回であった。

招聘先としては各種団体が中心で、職員研修、地域学習、生涯学習の場として、様々な目的に活用されていた。

<出前授業>

期 日	用 務 先	対象児童等	人数	会 場	授業内容
平成26年5月9日	関市立下有知小学校	5年生	55	関市立下有知小学校	ウシモツゴ勉強会（外来種について）
平成26年5月13日	美濃市立大矢田小学校	5年生	20	美濃市立大矢田小学校	ウシモツゴ勉強会（外来種について）
平成26年5月13日	美濃市立藍見小学校	5年生	25	美濃市立藍見小学校	ウシモツゴ勉強会（外来種について）
平成26年6月13日	郡上市立高鷲小学校	4年生	29	長良川上流	カワゲラウォッチング
平成26年6月20日	関市立板取中学校	1年生	5	板取川	カワゲラウォッチング
平成26年7月2日	関市立瀬尻小学校	4年生	76	長良川	カワゲラウォッチング
平成26年7月15日	県立加茂高等学校	理数科1年生	40	乗鞍岳	野外観察学習
平成26年8月22日	白川郷自然共生フォーラム	小学生	15	白山ブナの森キャンプ場	化石探検ツアーの講師
平成26年8月26日	白川郷自然共生フォーラム	小学生	10	白山ブナの森キャンプ場	化石探検ツアーの講師
平成26年9月18日	県立海津明誠高等学校	3年生	121	県立海津明誠高等学校	古文書を読んでみよう
平成26年10月16日	関市立富岡小学校	4年生	80	関市立富岡小学校	ウシモツゴ勉強会（外来種について）
平成26年10月29日	関市立南ヶ丘小学校	親子	60	関市立南ヶ丘小学校	まが玉をつくろう
平成26年10月31日	関市立金竜小学校	5年生	120	関市立金竜小学校体育館	郷土の地質と化石レプリカづくり
平成26年11月8日	各務原市立鶴沼第一小学校	4・5・6年生	30	各務原市立鶴沼第一小学校	化石レプリカづくりと郷土の地質について
平成26年11月27日	富加町立富加小学校	5年生	35	長良川	水の流れのはたらき
平成27年2月3日	関市立瀬尻小学校	4年生	76	長良川	カワゲラウォッチング
平成27年2月6日	関市立倉知小学校	3年生	120	関市立倉知小学校	昔の道具
平成27年2月13日	県立岐阜高等学校	2年生	12	県立岐阜高等学校物理実験室	地学実験の方法と考え方について
		回数	18回	929	

<講師派遣>

期 日	依 頼 元	対象児童等	人数	授 業 内 容
平成26年5月2日	東京大学総合研究博物館	研究員等	3	共同研究に関する会議
平成26年5月21日	瑞穂市教育委員会	一般	5	仏像調査
平成26年5月28日	十六銀行	一般	60	地球科学に関する講演
平成26年6月21日	七宗町役場	一般	30	七宗町地域の地質及びホテルの生態についての現地観察会
平成26年7月21日	dokidoki 工房	親子	12	縄文土器を知ろう！学ぼう！
平成26年7月22日	dokidoki 工房	親子	4	縄文土器を知ろう！学ぼう！
平成26年7月30日	揖斐川町歴史民俗資料館	小中学生	30	まが玉をつくろう
平成26年8月3日	揖斐川町歴史民俗資料館	小中学生	30	まが玉をつくろう
平成26年8月29日	海津市教育委員会	教員	12	化石レプリカの教授法及び西濃地域の地質について
平成26年10月11日	瑞穂市教育委員会	一般	73	講演会「瑞穂市の仏像の魅力」
平成26年11月2日	NPO法人ぎんぶな	一般	30	関市小屋名周辺の地質について
平成26年11月9日	東海縄文研究会	一般	120	縄文時代前期の飛驒の石器
平成26年12月5日	多治見市教育委員会	一般	6	仏像調査
平成26年12月25日	瀬戸市理科研究会	教員	5	木曽川河床に見る地域の地質について
平成27年2月18日	岐阜市歴史博物館友の会	一般	32	ユネスコ無形文化遺産「本美濃紙」について
平成27年3月8日	山県市教育委員会	一般	40	ギフチョウ・カンアオイ勉強会
平成27年3月29日	関市教育委員会	一般	278	国指定記念・小瀬鶴飼講演会
			770	

⑦ 資料の貸し出し

	機 関 名	資 料 名	貸出開始期日	貸出終了期日	点数
人	岐阜市歴史博物館	十六銅鐸	平成 26 年 3 月 20 日	平成 26 年 5 月 31 日	1
	岐阜市歴史博物館	円満寺山古墳出土三角縁神獣鏡	平成 26 年 3 月 20 日	平成 26 年 5 月 31 日	1
	名古屋テレビ放送株式会社	歌川国利筆「岐阜市街大地震之図」(画像)	平成 26 年 4 月 16 日	平成 26 年 5 月 20 日	1
	宗教法人 済法寺	木造十一面観音立像 (レプリカ) 他	平成 26 年 5 月 1 日	平成 27 年 4 月 30 日	5
	(株) 泉放送制作	溪斎英泉筆「岐阻路ノ駅 河渡 長柄川鵜飼船」(画像)	平成 26 年 5 月 30 日	平成 26 年 6 月 8 日	1
	郡上市立三城小学校	火おこし器	平成 26 年 6 月 1 日	平成 26 年 6 月 2 日	6
	(株) ワイズビジョン	複式催眠球 (画像)	平成 26 年 8 月 4 日	平成 26 年 8 月 7 日	1
	関西大学	円満寺山古墳出土鉄製品 (閲覧)	平成 26 年 8 月 5 日	平成 26 年 8 月 8 日	14
	(公財) 土岐市文化振興事業団	志野織部大鉢他	平成 26 年 8 月 19 日	平成 26 年 12 月 12 日	3
	中山道みたけ館	含粹亭芳豊「東海道五十三次道案内 木曾街道筋」(画像)	平成 26 年 10 月 2 日	平成 26 年 10 月 25 日	1
	日野諏訪神社	木造獅子頭	平成 26 年 10 月 18 日	平成 26 年 10 月 18 日	1
	日野諏訪神社	木造獅子頭	平成 26 年 11 月 2 日	平成 26 年 11 月 2 日	1
	龍谷大学 龍谷ミュージアム	木造毘沙門天立像 (ポジ)	平成 26 年 10 月 28 日	平成 26 年 11 月 16 日	1
	美濃加茂市民ミュージアム	小丸山遺跡出土資料ほか	平成 26 年 11 月 26 日	平成 27 年 2 月 6 日	53
	美濃加茂市民ミュージアム	小丸山遺跡出土資料ほか (閲覧)	平成 26 年 12 月 6 日	平成 27 年 2 月 1 日	53
文	大垣市文化遺産活用推進事業実行委員会	木造薬師如来坐像 (ポジ) 他	平成 27 年 1 月 23 日	平成 27 年 2 月 5 日	3
	実践女子学園香雪記念資料館	江馬細香筆「養老瀑布図」(ポジ) 他	平成 27 年 2 月 9 日	平成 27 年 4 月 3 日	2
	岐阜市歴史博物館	十六銅鐸	平成 27 年 3 月 12 日	平成 27 年 6 月 7 日	1
	岐阜市歴史博物館	円満寺山古墳出土三角縁神獣鏡レプリカ	平成 27 年 3 月 12 日	平成 27 年 6 月 7 日	1
自	岐阜市立長良中学校	哺乳類剥製・骨格・頭骨標本	平成 26 年 4 月 6 日	平成 26 年 4 月 13 日	16
	各務原市立桜丘中学校	哺乳類頭骨標本	平成 26 年 4 月 14 日	平成 26 年 4 月 18 日	5
	㈱小学館クリエイティブ	恐竜骨格標本 (画像)	平成 26 年 4 月 23 日	平成 26 年 6 月 18 日	1
	木曾三川事業所	鳥類剥製標本	平成 26 年 5 月 2 日	平成 26 年 5 月 6 日	20
	可児市立南帷子小学校	昆虫標本	平成 26 年 5 月 17 日	平成 26 年 5 月 24 日	8
	岐阜県立八百津高等学校	川原の石キット	平成 26 年 5 月 31 日	平成 26 年 6 月 21 日	1
	岐阜県食肉衛生検査所	ウシ、ブタ、イノシシの頭骨標本	平成 26 年 6 月 8 日	平成 26 年 7 月 4 日	3
	本巣市立糸貫中学校	頭骨標本	平成 26 年 6 月 20 日	平成 26 年 6 月 29 日	16
	エコミュージアム 関ヶ原	昆虫標本	平成 26 年 6 月 21 日	平成 26 年 9 月 12 日	9
	関市立上之保小学校	ウサギの剥製・骨格標本	平成 26 年 6 月 29 日	平成 26 年 7 月 12 日	2
	福井市自然史博物館	動物標本	平成 26 年 7 月 8 日	平成 26 年 9 月 30 日	4
	加茂郡七宗町役場	鉱物標本	平成 26 年 7 月 11 日	平成 26 年 9 月 7 日	111
	可児市川合公民館	化石レプリカ製作キット	平成 26 年 7 月 20 日	平成 26 年 7 月 27 日	20
	高山市役所生涯学習課	化石レプリカ製作キット	平成 26 年 7 月 25 日	平成 26 年 8 月 25 日	20
	瑞穂市教育委員会	化石レプリカ製作キット	平成 26 年 8 月 8 日	平成 26 年 8 月 10 日	30
然	木曾三川事業所	化石レプリカ製作キット	平成 26 年 8 月 8 日	平成 26 年 8 月 12 日	20
	岐阜大学教育学部	岩石・鉱物・化石標本	平成 26 年 8 月 15 日	平成 26 年 8 月 25 日	45
	木曾三川事業所	化石レプリカ製作キット	平成 26 年 8 月 19 日	平成 26 年 8 月 21 日	20
	木曾三川事業所	コウモリ標本	平成 26 年 8 月 20 日	平成 26 年 8 月 28 日	4
	エコミュージアム 関ヶ原	鳥類・昆虫標本	平成 26 年 9 月 2 日	平成 26 年 11 月 28 日	7
	美濃市立美濃中学校	頭骨標本	平成 26 年 9 月 10 日	平成 26 年 9 月 12 日	12
	組合立双葉中学校	頭骨標本	平成 26 年 9 月 21 日	平成 26 年 9 月 27 日	18
	一宮市尾西歴史民俗資料館	動物標本	平成 26 年 9 月 24 日	平成 26 年 11 月 30 日	18
	岐阜県環境生活部自然環境保全課	ツキノワグマ頭骨標本	平成 26 年 9 月 25 日	平成 26 年 10 月 10 日	1
	美濃加茂市立西中学校	頭骨標本	平成 26 年 9 月 28 日	平成 26 年 10 月 13 日	40
	県立大垣工業高等学校	岩石標本セット	平成 26 年 10 月 4 日	平成 26 年 10 月 25 日	10
	岐阜市立網代小学校	カワセミ標本	平成 26 年 10 月 11 日	平成 26 年 10 月 17 日	1
	御嵩町立向陽中学校	骨格標本	平成 26 年 10 月 18 日	平成 26 年 11 月 11 日	7
	木曾三川事業所	コウモリ標本	平成 26 年 10 月 21 日	平成 26 年 10 月 26 日	4
	県立岐阜農林高等学校	動物剥製標本	平成 26 年 10 月 28 日	平成 26 年 11 月 4 日	19
	海津市立平田中学校	頭骨標本	平成 26 年 11 月 2 日	平成 26 年 11 月 9 日	14
	多治見市立根本小学校	川原の石キット	平成 26 年 11 月 3 日	平成 26 年 11 月 17 日	2
	高山陣屋管理事務所	剥製標本	平成 26 年 11 月 3 日	平成 27 年 1 月 3 日	3
	海津市立東江小学校	化石レプリカ製作キット	平成 26 年 11 月 4 日	平成 26 年 11 月 6 日	40
	海津市立大江小学校	化石レプリカ製作キット	平成 26 年 11 月 7 日	平成 26 年 11 月 11 日	40
	県立岐阜工業高等学校	特別展 (展示画像)	平成 26 年 11 月 8 日	平成 26 年 11 月 8 日	21
	海津市立西江小学校	化石レプリカ製作キット	平成 26 年 11 月 12 日	平成 26 年 11 月 13 日	40
	海津市立高須小学校	化石レプリカ製作キット	平成 26 年 11 月 14 日	平成 26 年 11 月 19 日	40
	岐阜市立長良中学校	骨格標本	平成 26 年 11 月 15 日	平成 26 年 11 月 30 日	40
	海津市立石津小学校	化石レプリカ製作キット	平成 26 年 11 月 20 日	平成 26 年 11 月 21 日	40
	海津市立城山小学校	化石レプリカ製作キット	平成 26 年 11 月 22 日	平成 26 年 11 月 27 日	40

	機 関 名	資 料 名	貸出開始期日	貸出終了期日	点数
自	海津市立東江小学校	化石レプリカ製作キット	平成 26 年 11 月 28 日	平成 26 年 12 月 5 日	40
	名古屋市博物館	哺乳類剥製標本	平成 26 年 12 月 1 日	平成 27 年 2 月 18 日	8
	海津市立海西小学校	化石レプリカ製作キット	平成 26 年 12 月 6 日	平成 26 年 12 月 9 日	40
	海津市立吉里小学校	化石レプリカ製作キット	平成 26 年 12 月 10 日	平成 26 年 12 月 13 日	40
	県立飛騨神岡高等学校	化石レプリカ製作キット	平成 27 年 1 月 6 日	平成 27 年 1 月 25 日	30
	大垣市立小野小学校	化石レプリカ製作キット	平成 27 年 2 月 15 日	平成 27 年 2 月 22 日	48
	白川町立黒川小学校	化石レプリカ製作キット	平成 27 年 2 月 24 日	平成 27 年 3 月 7 日	14
	世界淡水魚水族館	ニホンウナギ全身骨格	平成 27 年 3 月 18 日	平成 27 年 7 月 15 日	1
	木曽三川事業所	モグラ類剥製標本	平成 27 年 3 月 3 日	平成 27 年 3 月 10 日	3
	一宮市立木曽川西小学校	化石レプリカ製作キット	平成 27 年 3 月 11 日	平成 27 年 3 月 13 日	40
然	木曽三川事業所	化石レプリカ製作キット	平成 27 年 3 月 24 日	平成 27 年 3 月 3 日	15
合 計					71 件 1,241

⑧ 刊行物

名	称	発行年月日	判 、 頁	部 数	備 考
岐阜県博物館報第 37 号		26. 4. 1	A4 32 頁	800	
平成 27 年度岐阜県博物館催し物案内	リーフレット	27. 3. 31	A4 4 ツ折	40,000	
岐阜県博物館調査研究報告第 36 号		27. 3. 31	A4 66 頁	700	
展示セルフガイドカード	ワークシート	27. 3. 31	A4 両面	13,000	
平成 26 年度岐阜県博物館イベントプログラム (7～9 月)	リーフレット	26. 6. 31	A4 片面	10,000	
平成 26 年度岐阜県博物館イベントプログラム (10～12 月)	リーフレット	26. 9. 31	A4 片面	10,000	
平成 26 年度岐阜県博物館イベントプログラム (1～3 月)	リーフレット	26. 12. 31	A4 片面	10,000	
平成 27 年度岐阜県博物館イベントプログラム (子ども向け)	リーフレット	27. 3. 31	A4 片面	20,000	
平成 27 年度岐阜県博物館イベントプログラム (講座・講演会)	リーフレット	27. 3. 31	A4 片面	10,000	
大人のための博物館講座	リーフレット	26. 6. 21	A4 片面	750	
(「脳形態から迫る古生物の姿～解剖学と古生物学が会おうとき～」)					
大人のための博物館講座	リーフレット	26. 9. 11	A4 片面	750	
(「博物館×オカルト×岐阜 ～特別展「奇なるものへの挑戦」ができるまで～)					
大人のための博物館講座 (「石器から読み解く岐阜のあけぼの」)	リーフレット	26. 11. 6	A4 片面	750	
岐阜県博物館特別講座「宇宙への誘い」	リーフレット	26. 10. 1	A4 片面	1,500	
【企画展刊行物】					
ひだみの古生代の記憶	—生命の進化と大量絶滅—	ポスター	26. 4. 26	B2	1,500
ひだみの古生代の記憶	—生命の進化と大量絶滅—	リーフレット	26. 4. 26	A4 両面	28,000
ひだみの古生代の記憶	—生命の進化と大量絶滅—	子どもガイド	26. 4. 26	A4 2 ツ折	1,500
奇なるものへの挑戦	明治大正／異端の科学	ポスター	26. 7. 4	B2	2,800
奇なるものへの挑戦	明治大正／異端の科学	リーフレット	26. 7. 4	A4 両面	110,000
奇なるものへの挑戦	明治大正／異端の科学	図録	26. 7. 4	A4 58 頁	600
奇なるものへの挑戦	明治大正／異端の科学	子どもガイド	26. 7. 4	A4 2 ツ折	1,500
里山いま昔	一人と自然 あらたな“絆”を求めて—	ポスター	26. 9. 12	B2	2,500
里山いま昔	一人と自然 あらたな“絆”を求めて—	リーフレット	26. 9. 12	A4 両面	110,000
里山いま昔	一人と自然 あらたな“絆”を求めて—	図録	26. 9. 12		
里山いま昔	一人と自然 あらたな“絆”を求めて—	子どもガイド	26. 9. 12	A4 2 ツ折	1,500
発掘された飛騨・美濃の歴史		ポスター	26. 11. 22	B2	1,500
発掘された飛騨・美濃の歴史		リーフレット	26. 11. 22	A4 両面	28,000
発掘された飛騨・美濃の歴史		子どもガイド	26. 11. 22	A4 2 ツ折	1,500
日本自然科学写真協会写真展自然を楽しむ科学の眼 2014—2015		ポスター	27. 2. 7	B2	1,500
日本自然科学写真協会写真展自然を楽しむ科学の眼 2014—2015		リーフレット	27. 2. 7	A4 両面	28,000
【マイ・ミュージアム刊行物】					
マイ・コレクション第 145 号	リーフレット	26. 4. 5	A4 両面	1,500	
マイ・コレクション第 146 号	リーフレット	26. 5. 31	A4 両面	1,500	
マイ・コレクション第 147 号	リーフレット	26. 7. 19	A4 両面	1,500	
マイ・コレクション第 148 号	リーフレット	26. 8. 30	A4 両面	1,500	
マイ・コレクション第 149 号	リーフレット	26. 10. 18	A4 両面	1,500	
マイ・コレクション第 150 号	リーフレット	26. 12. 6	A4 両面	1,500	
マイ・コレクション第 151 号	リーフレット	27. 1. 31	A4 両面	1,500	
マイミュージアムギャラリー	ポスター	27. 3. 31	B2	1,600	
マイミュージアムギャラリー	リーフレット	27. 3. 31	A4 両面	14,000	

⑨ 図書館資料（平成 27 年 3 月 1 日現在）

	図書館資料数	備 考
一 般 資 料	21, 071	含 刀剣文庫
郷 土 資 料	5, 672	
児 童 書	1, 293	
博 物 館 資 料	5, 292	含 当館資料、棚橋文庫、熊田文庫
合 計	33, 328	

(2) 広報活動

来館者の増加を目指して、広報活動の充実を図った。

①当館ホームページの活用

お知らせ欄及び web ニュース欄を活用し、当館の“今”を伝え、当館への興味関心を高めるように工夫した。

お知らせ欄では、博物館実習やサポーター募集、大人のための博物館講座や特別企画など、閲覧者の特に注意を引きたいような情報をまとめて配信した。

Web ニュースにおいては、特別展、企画展、特集展示、催し物の様子、館の見どころなど、多彩かつ速報的な情報を配信した。

②館外掲示の活用

博物館入口前、百年公園北口及び南口の掲示物ケース内に直近の催し物情報を掲示し、百年公園来園者の当館への誘導のための掲示を行った。

③インフォメーションの移動

平成 27 年 3 月 20 日よりインフォメーションをナウマンゾウの横から、階段下（平成 19 年以前の設置場所）へ移動した。来館者の利便性の向上と下記の導線の整備にともなうインフォメーションでの入館券確認の実施の必要上からである。

④マイ・ミュージアム棟から本館への導線の整備

平成 27 年 3 月 20 日よりマイ・ミュージアム棟から本館への接続部の導線を変更した。具体的には、マイ・ミュージアム棟から自然展示室に直接入室するルートを変更し、講堂東廊下を経て講堂前フロアへ導くルートに改めた。これにより本館 3 階フロアを起点とする展示構成は把握しやすくなり、迷子の解消にも資するものと考えられる。

(3) 博物館実習

7 月 23 日（水）から 7 月 27 日（日）までの 5 日間、岐阜大学（4 名）、岐阜聖徳学園大学（5 名）、岐阜女子大学（3 名）、滋賀県立大学（1 名）、同志社大学（1 名）、愛知学院大学（2 名）、愛知大学（1 名）、名城大学（1 名）の 8 大学から 18 名の学生を受け入れた。分野別の受け入れ状況は、人文 8 名、自然 3 名（植物 1 名、動物 2 名）、教育普及 7 名であった。実習内容は下記のとおりである。

<実習内容>

第 1 日目	実習開始式 館長講話 岐阜県博物館の概要・博物館学芸員の仕事 教育普及担当の仕事 自然担当の仕事・自然資料の概要・自然展示室観覧 デジタルアーカイブの概要 マイミュージアムギャラリーの観覧
第 2 日目	人文担当の仕事・人文資料の概要・人文展示室観覧 刀剣手入れに関する講話と見学（関鍛冶伝承館） 企業博物館見学（フェザーミュージアム）
第 3 日目	分野別実習
第 4 日目	分野別実習 大人のための博物館講座補助
第 5 日目	分野別実習

9 利用状況

(1) 利用者数

平成 26 年度の総利用者数は、79,906 人で内訳は、館内への入館者が 39,757 人、旧徳山村民家観覧者 18,303 人、移動博物館等館外活動の観覧者、参加者が 21,846 人となった。また、団体入館者は、173 団体 10,279 人で、利用者総数の 13%を占めており、月別では 10 月が最も多い。(64 団体 3,612 人)

特別展の観覧者は、下表のとおりで、2つの展覧会合わせて 19,098 人（1 日平均 178 人）であった。

(2) 入館者カウント方法の変更

平成 27 年度より入館者数を総利用者数へと変更する。すなわち展示、教育普及事業、施設利用、出前講座等の延べ利用者を入館者数としてカウントする方法である。これにより、当館の事業や機能別の利用状況が把握でき、事業や施設の改善のためのより有効な指標を得られることになる。

月	高校生以下	大学生	一 般	計	開館日数	一日平均
4	1,044	18	3,961	5,023	26	193
5	2,719	135	6,306	9,160	27	339
6	1,301	59	3,726	5,086	25	203
7	2,145	146	4,103	6,394	27	237
8	3,786	175	6,924	10,885	26	419
9	7,166	49	7,734	14,949	25	598
10	4,072	42	3,593	7,707	27	285
11	2,909	16	3,798	6,723	26	259
12	232	9	1,440	1,681	24	70
1	725	29	1,775	2,529	24	105
2	1,197	11	4,835	6,043	24	252
3	872	88	2,766	3,726	26	143
計	28,168	777	50,961	79,906	307	260

特 別 展 名	期 間	高校生以下	大学生	一般	計
奇なるものへの挑戦 明治大正 / 異端の科学	7/ 4 ～ 8/31 (50 日)	3,735	302	5,289	9,326
里山いま昔一人と自然 あらたな“絆”を求めて	9/12 ～ 11/16 (57 日)	6,282	72	3,418	9,772

(3) 来館者アンケート

来館者の実態や意識を把握し博物館の運営に生かすために、アンケート調査とその結果の考察を実施している。

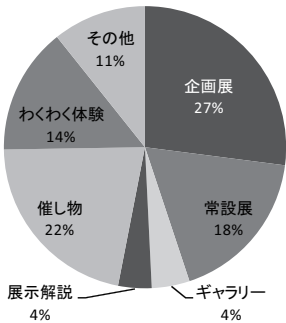


図 1 来館目的（複数選択可 n=392、H26 年 4 月～ H27 年 3 月）

来館目的では、図 1 に示すように、企画展、催し物、常設展、わくわく体験の 4 項目が比較的多い。昨年度の結果と比較してみると、催し物が 10 ポイント以上増加しており、催し物に関する様々な試みが功を奏したと考えられる。一方、マイミュージアムギャラリーが 10 ポイント以上減少している。

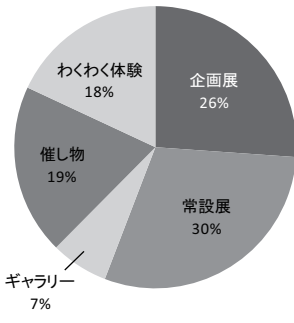


図 2 満足できたもの（複数選択可 n=471、H26 年 4 月～ H27 年 3 月）

満足できたものでは、図 2 に示すように、常設展が最も多く、次いで、企画展、催し物、わくわく体験と続く。常設展では、昨年度同様に子ども連れの家族を中心に、展示や子ども用展示ワークシートなどが楽しまれているようである。

来館目的と満足度との比較では、企画展、常設展、催し物、わくわく体験のいずれも期待度と満足度が同程度であり、来館者が来館の目的をほぼ達成してもらえていると考えられる。今後も企画展、常設展の魅力を高め、催し物やわくわく体験など工夫を凝らしていくことが求められているのではないかと考えている。

10 博物館関係団体

(1) 岐阜県博物館友の会

博物館「友の会」は、博物館事業の普及を図るとともに、会員相互の教養を高め、親睦を図ることを目的とする会である。そのために、博物館と密接に連携を取り、博物館の事業や活動をサポートしている。

平成 26 年度の一般会員数は 208 人、後援会員は 8 団体である。数年前に比べて著しく減少している。継続会員の高齢化が進み、退会者が増えていることによるものである。

若い人たちを惹きつけるような会になるよう、博物館と一層の連携を図り、生涯学習に繋がる魅力的な活動を推進していくことが課題である。

平成 26 年度の主な事業、行事は次の通りである。

① 会議

春季理事会・総会 5 月 14 日（水）
秋季理事会 10 月 16 日（木）
会長・副会長 3 月 14 日（土）

② 各種委員会

会報委員会 4 月 22 日（火）
探訪委員会 5 月 8 日（木）、1 月 30 日（金）
七草委員会 11 月 14 日（金）、1 月 6 日（火）

③ 広報誌の発行

季刊誌「友の会報」は 110 号（6 月）、111 号（10 月）、112 号（2 月）の年 3 回発行。各誌 A 4 判 6 頁であるが、111 号は 8 頁とした。各 300 部発行。

④ 図録の刊行と在庫図録の販売

特別展に合わせ、「奇なるものへの挑戦」「里山いま昔」の 2 種類の図録を刊行した。「奇なるものへの挑戦」は期間中に増刷したが、それも完売するほど好評だった。全国から電話による問い合わせ注文も多かった。また、在庫図録の販売は、館内ショップでの販売と以下の外部施設での委託販売が中心であった。「高山陣屋」、「下呂発温泉博物館」、「海津市歴史民俗資料館」、「百年公園事務所」、「東京国立博物館」、「国立歴史民俗博物館（千葉県佐倉市）」

⑤ 博物館との共催事業の実施

・特別行事 「七草がゆを食べよう（1 月 7 日）」は好天にも恵まれ 170 人程の来客があった。地元の市長、市議も来館、試食された。友の会員の他、サポーター、ボランティアの方々の協力もあって、おいしい七草がゆを来客者に提供することができた。館内では、正月遊びの遊具を楽しむこともでき、大変好評であった。

・わくわく体験

児童・生徒を対象とした化石クリーニング体験、化石レプリカづくり、万華鏡づくり、どんぐりの標本箱づくり等、サポーターの協力も得て、原則毎週日曜日に実施され、延べ年間 3375 人の参加者があった。

・けんぱく教室 「竹でおもちゃをつくろう」「木でこいのぼり・五月人形をつくろう」「まが玉をつくろう」「まゆ人形をつくろう」「火おこし器をつくろう」「むかしのおもちゃをつくろう」「織りものを体験しよう」など

⑥ 友の会員の入館料助成

今年度の会員の博物館見学者は、常設展 203 人、特別展期間 122 人の計 325 人で、その入館料（団体料金相当）を友の会で助成した。

⑦ 探訪の旅

友の会では、会員相互の親睦を図るとともに、見聞を広め、教養を高めるために、海外への探訪並びに国内探訪を

実施している。昭和 61 年以降今日まで、国内探訪として、歴史的名所、旧蹟を訪ねる旅行を 74 回実施した。平成 4 年からは、更に海外探訪の旅を加え、世界遺産見学を中心に、これまでに 13 回に及ぶ訪問国の文化と歴史を研修する旅を進めてきた。研修と見学を柱とした友の会探訪の旅の特色は次の通りである。

- ・探訪の目的を明確にして、手作りの日程を策定する。
 - ・会独自の解説書を作成し、参加者全員に配布して、現地での研修、見学に活用している。
- 今年度の探訪の旅は以下の通りである。
- ・「東近江 古刹四寺巡りの旅」
5 月 25 日（日）参加者 40 名
 - ・「瀬戸内の自然・歴史・文化を巡る旅」
11 月 11 日（火）～ 13 日（木）参加者 16 名

(2) 岐阜県博物館協会

岐阜県博物館協会は、「会員相互の連絡提携のもとに社会教育の健全な推進と文化の向上に寄与すること」を目的に、昭和 41 年に設立された。

県民文化講演会「円空の生涯」ほか、公開講座（年 4 回）、機関紙発行（年 2 回）、会員研修会（年 3 回）等の諸事業を行った。

平成 27 年 3 月現在、会員館は 129 館、個人会員は 10 名。主な役員は次の通りである。

会長…若宮多門、副会長…名和哲夫、古川秀昭、後藤弘之、榎本徹、浦谷公平、事務局は岐阜県博物館内にある。

<主な事業>

4/ 5 外	第 139 回公開講座（4/5, 13, 5/4, 6, 10/26, 11/2, 9, 23, 30, 12/14, H27. 1/11, 25, 2/8, 3/8, 29）
4/17	協会監査
4/24	第 1 回理事会
5/18 外	第 140 回公開講座（5/18, 25）
5/28	岐阜県博物館協会通常総会
5/28	県民文化講演会
6/25	機関紙・ホームページ委員会
7/30	東海地区博物館連絡協議会・日本博物館協会 東海支部理事会・総会・講演会（山梨県）
8/24	第 141 回公開講座
8/28	地域博物館活性化委員会
8/28	会長・副会長会議
10/17	第 39 回東海三県博物館協会研究交流会（愛知県）
10/30	第 1 回創立 50 周年事業企画委員会
11/16	第 142 回公開講座
11/19～21	第 62 回全国博物館大会（三重県）
12/ 3	第 85 回会員研修会
12/11	第 86 回会員研修会
12/18	創立 50 周年事業企画委員意見交換会
H27. 1/22	第 2 回創立 50 周年事業企画委員会
2/ 6	第 2 回理事会
3/ 1	機関紙『岐阜の博物館』第 175 号発行
3/ 4	研修委員会
3/ 4	第 87 回会員研修会
3/ 5	第 3 回創立 50 周年事業企画委員会
3/31	機関紙『岐阜の博物館』第 176 号発行

Ⅲ 利用案内（平成27年度）

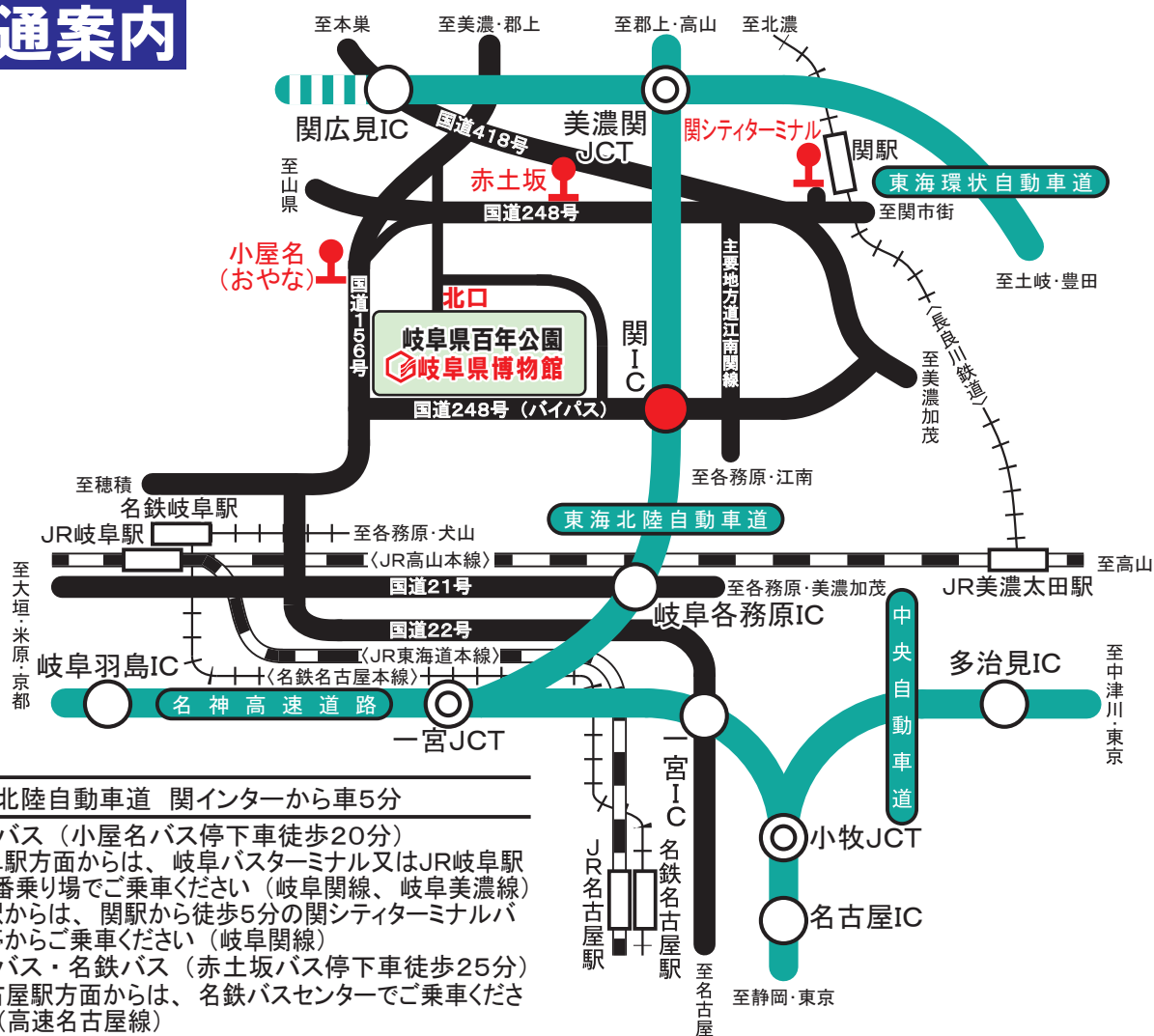
- 入館料

区 分	本 館		マイ・ミュージアム
	通 常	特別展開催中	
一 般	330(270) 円	600(520) 円	無 料
大 学 生	110(50) 円	300(200) 円	
小 中 高 生	無 料	無 料	

() は 20 名以上の団体

- 駐 車 場 岐阜県百年公園駐車場をご利用ください。
※平成 27 年 4 月より無料

交通案内



お車でお越しの方は岐阜県百年公園北口駐車場（平成27年4月より無料化）をご利用ください。北口から博物館まで300mです。歩行が困難な方は博物館入口までお車の乗り入れができますので、百年公園管理事務所でお申し出ください。

岐阜県博物館報 第38号

平成27年（2015）4月1日 発行

編集・発行 岐阜県博物館
関市小屋名 1989（岐阜県百年公園内）
TEL 〈0575〉 28－3111

印 刷 株式会社 大一プリント